

平成30年度事業報告



Hiroshima Industrial Promotion Organization

公益財団法人ひろしま産業振興機構

平成30年度事業報告

創業・新事業創出等の促進

(318,276千円)

創業、新事業展開、経営革新等を促進するため、中小企業・ベンチャー総合支援センターの運営により、県内中小企業等に対する総合的な支援体制を構築し、企業の成長段階に応じた一貫した支援を行った。

1 事業化・市場化の支援

(278,614千円)

(1) 創業環境整備促進事業

(国・県・自 87,635千円)

「ひろしま創業サポートセンター」において、創業意欲の高い創業希望者や第二創業を目指す企業等に対して、創業マネージャー等による相談対応や、中小企業診断士、税理士等の専門家（創業サポーター）の派遣など、きめ細かな支援により多様な創業を創出するとともに、創業希望者等に役に立つ多様な創業セミナーを実施した。

《実績》

【創業マネージャー等による相談対応】

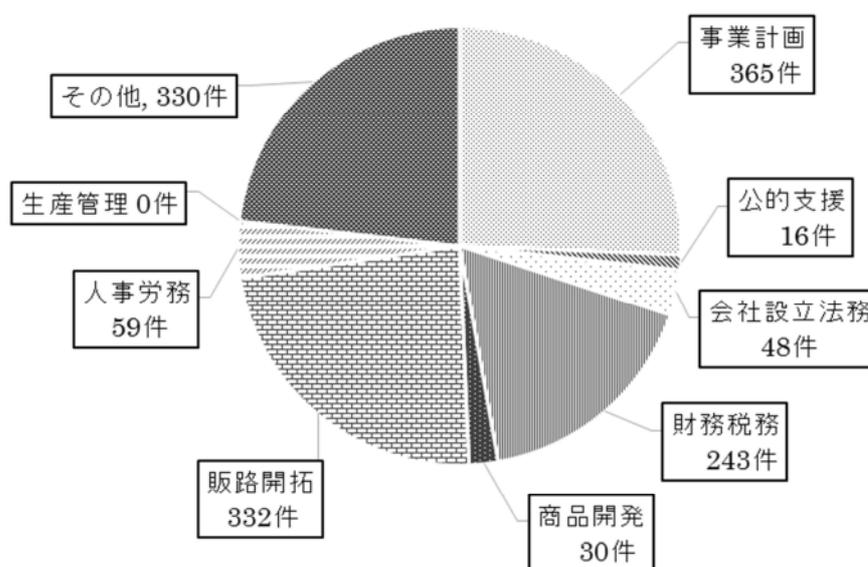
創業マネージャー1名、創業サブマネージャー4名を配置し、創業前、創業時、創業後の各段階に応じた相談に対応した。

(ひろしま創業サポートセンターへの相談状況：月別)

(単位：件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
70	69	64	51	58	49	48	73	74	75	69	68	768

相 談 内 容



※相談内容の件数合計は、1件につき複数の相談があるため、相談状況の件数計と一致しない。

【創業セミナーの開催】

創業イメージの具体化や知識・ノウハウの習得のためのセミナーを実施した。

また、創業後の事業継続に向けてのフォローアップセミナーを広島市、福山市で開催した。

(40回開催、延べ参加人数1,131名)

<創業セミナー開催実績>

	No	区分		開催日	会場	参加者数	実施形態	共催者等
機運醸成	1	創業機運醸成ワークショップ	-	9/1(土)、10/8(月祝)、10/21(日)	広島	16	委託	(株)Hint
	2	創業機運醸成セミナー	-	10/6(土)	福山	95	委託	(株)山陽管理、福山市
	3	創業機運醸成セミナー	-	10/23(火)、11/14(水)、12/5(水)	広島	67	委託	(株)ソアラサービス
意識啓発(交流会等)	4	ひろがる・つながる・女性の輪「TREE」 #5	-	6/4(月)	福山	76	共催	主催: TREE 実行委員会 共催: 福山市、(株)山陽管理
	5	女性ワーキング交流会	第1回	7/10(火)	福山	45	共催	起業女子応援ナビ@中国地域ネットワーク、Tomoパートナーズ、広島県男女共同参画財団、瀬ボーイスカラー、日本政策金融公庫
	6	くれしん創業応援セミナー	-	8/4(土)	呉	28	共催	呉信用金庫、呉市
	7	創業応援セミナー	-	9/12(水)	広島	95	委託	(公財)ひろしまベンチャー育成基金
	8	創業者交流会	-	9/26(水)	福山	17	委託	日本政策金融公庫、福山商工会議所
	9	備後次世代創業塾	第2回	10/12(金)	福山	53	共催	(株)山陽管理
	10	創業者情報交換会	-	11/6(火)	尾道	18	共催	日本政策金融公庫
	11	女性ワーキング交流会	第2回	12/13(木)	広島	25	共催	起業女子応援ナビ@中国地域ネットワーク、Tomoパートナーズ、広島県男女共同参画財団、瀬ボーイスカラー、日本政策金融公庫
	12	HIROSHIMA OTONA GIRLS ミーティング	-	1/24(木)	広島	56	共催	日本政策金融公庫、広島県男女共同参画財団
	13	ギャザリング inSO@R	-	3/1(金)	広島	41	委託	(株)ソアラサービス
相談会等	14	創業相談会	-	9/3(月)	広島	9	共催	日本政策金融公庫、広島県信用保証協会、中国税理士会、広島県中小企業診断協会、広島司法書士会、広島弁護士会、広島県社会保険労務士会
	15	創業サロン	-	9/14(金)	広島	3	共催	広島信用金庫
	16	創業個別相談会	-	12/17(月)	東広島	2	共催	東広島市
創業塾・創業入門	17	創業のすゝめ	-	7/5(木)	広島	15	共催	広島信用金庫
	18	広信「創業スタートアップセミナー」	-	8/4(土)	広島	17	共催	広島信用金庫
	19	創業チャレンジセミナー	-	8/25(土)、9/1(土)	呉	12	共催	呉市、呉信用金庫、日本政策金融公庫、呉商工会議所、呉広域商工会、(公財)くれ産業振興センター
	20	創業塾(福山)	-	9/15(土)、22(土)、29(土) 10/6(土)、13(土)、20(土)	福山	27	委託	福山商工会議所

	No.	区分		開催日	会場	参加者数	実施形態	共催者等
創業塾・創業入門	21	世羅創業入門セミナー	-	10/29(月)	世羅	10	共催	世羅町、世羅町商工会、日本政策金融公庫
	22	創業塾(竹原)	-	11/3(土)、10(土)、17(土)	竹原	12	共催	竹原商工会議所、日本政策金融公庫
	23	しゃもじん創業塾	-	1/12(土)、26(土)、2/2(土)、16(土)	廿日市	38	共催	廿日市市・廿日市商工会議所・日本政策金融公庫
	24	府中創業入門セミナー	-	1/26(土)、2/9(土)	府中	17	共催	府中市、府中商工会議所、上下町商工会、日本政策金融公庫
業種・目的に特化	25	備後次世代創業塾	第1回	9/14	福山	19	委託	(株)山陽管理
	26	創業者のためのSNS情報発信セミナー		11/12	呉	24	共催	もみじ銀行、日本政策金融公庫
	27	創業者のための会計・税務入門セミナー	-	7/21(土)、28(土)	広島	15	共催	もみじ銀行、日本政策金融公庫
	28	客数獲得セミナー	-	9/11(火)	東広島	13	共催	もみじ銀行、日本政策金融公庫
	29	客数獲得セミナー	-	10/30(火)	尾道	18	共催	尾道市、尾道商工会議所、もみじ銀行、日本政策金融公庫
	30	客数獲得セミナー	-	10/30(月)、31(火)	府中	5	共催	府中市、府中商工会議所、もみじ銀行、日本政策金融公庫
	31	集客力アップ実践セミナー	-	11/19(月)、27(火)、12/4(火)	広島	17	共催	日本政策金融公庫
	32	フィジカルケアビジネス創業セミナー	-	2/16(土)	広島	8	単独	もみじ銀行、IGL 医療福祉専門学校、日本政策金融公庫、広島県・今治市雇用労働相談センター
	33	SPA ビジネス創業セミナー	-	2/9(土)、23(土)、3/9(土)	広島	27	委託	(株)Hint
	34	創業者のための従業員雇用促進セミナー	-	2/28(木)	広島	23	委託	広島銀行、日本政策金融公庫
女性対象	35	女性若者向け創業 Week「実践創業セミナー」	-	7/21(土)、22(日)	広島	13	共催	日本政策金融公庫、広島県、広島県・今治市雇用労働相談センター、(一社)広島県発明協会
	36	女性若者向け創業 Week「創業セミナー」	-	12/9(日)	広島	10	共催	日本政策金融公庫
	37	女性のための創業のすゝめセミナー	-	2/21(木)	広島	25	共催	広島信用金庫
	38	女性のためのプチ創業セミナー	-	3/1(金)	広島	43	委託	日本政策金融公庫、ゆいぽーと、もみじ銀行
フォローアップ	39	創業者のための事業継続・拡大セミナー	-	3/7(木)	福山	23	共催	もみじ銀行、福山市、福山商工会議所
	40	創業者のための事業継続・拡大セミナー	-	3/12(火)	広島	54	共催	もみじ銀行
		合計				1,131		

【創業サポーターによる専門アドバイス】

創業前から創業後における課題解決を図るため、中小企業診断士・公認会計士・税理士・コンサルタント等の創業サポーターを派遣し、創業プラン策定、資金調達、会社設立申請、税務申告等についての専門指導を実施した。

○対象者：創業前1年・創業後1年以内 ○支援期間：最大2年間

○創業サポーター登録者数：149名（3月末現在）

＜創業サポーター支援実績：月別＞

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
支援事業者数 (名)※	80	44	30	23	16	20	17	8	16	20	16	10	300
延べ支援事業者数(名)	80	75	66	64	48	49	56	45	42	56	61	37	679
延べ支援回数(回)	108	92	93	88	63	65	77	65	55	67	84	46	903
延べ支援時間数(h)	178.0	169.0	164.0	153.5	106.5	112.5	121.5	101.0	93.0	114.0	143.5	82.0	1538.5

※支援事業者数は実支援事業者数を表す(同一月で同一支援事業者の場合は1名で計上)。

【創業後のフォローアップ調査（アンケート）の実施】

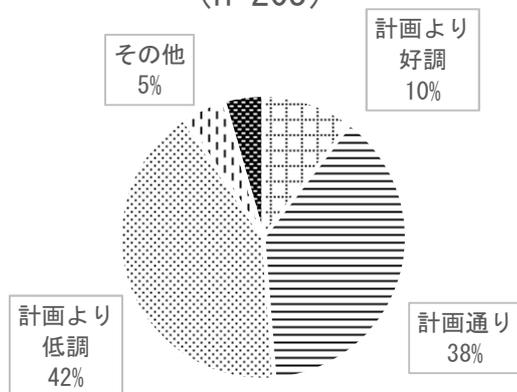
○調査対象：927先

○回答数：203件（回答率：21%） [宛先不明にて返送：81件]

【アンケート結果】

事業の継続状況

(n=203)



課題の有無

	件数	割合
あり	147	75.8%
なし	47	24.2%

課題の内容(複数回答、多いもの)

	件数
販路開拓	88
人材・採用	51
資金調達	47
社会保険・税金	17

【創業件数】

	H25	H26	H27	H28	H29	H30
創業件数	261件	312件	323件	401件	347件	303件

《評価》

□平成 30 年度目標

□実績

○県内の創業支援機関等と連携し、創業前から創業後にわたり総合的な支援を行うことで多様な創業を創出する。
 ・年間創業件数 300 件を確保。
 ・創業後のフォローアップの推進

○年間創業件数 303 件
 ・対前年比 △13%の減
 ○創業後のフォローアップの推進
 ・状況把握のためのアンケートの実施
 ・フォローアップセミナーの開催
 (延べ参加人数:77 人 広島市、福山市)

□令和元年度の課題

○30 年度の創業件数が前年比で 13%の減少(県内の他の支援機関の創業件数等も減少)した背景には、7 月の豪雨災害や雇用情勢の改善による創業への関心の低下が考えられる。
 ○このため景気や雇用情勢に影響されることなく、創業への関心や意欲を拡大させる社会・経済的にインパクトのある創業の創出により、創業拡大サイクルの形成を図る。
 ・成長支援コーディネーターによる創業後の成長支援
 ・ホームページや SNS を活用した創業の成功事例等の紹介等
 ○創業の「種」となる、新規の創業案件の積極的な掘起こしを実施する。
 ・地域の支援機関や金融機関等と連携した創業案件の共有化と共同支援体制の構築
 ○創業後の事業継続率の向上を図るため、フォローアップ支援を実施する。

(2) 地域需要創造型等起業・創業促進事業

(国 1,131 千円)

国の「平成 24 年度補正予算事業 創業補助金」及び「平成 25 年度補正予算事業 創業補助金」の広島県事務局として管理業務を継続実施した。

【業務内容】

- ・「事業化等状況報告書」の徴求
- ・収益納付に係る対応
- ・処分制限財産に係る対応
- ・補助事業者の状況記録(事業廃止、変更届等)
- ・審査・管理書類の保管

《評価》

□平成 30 年度目標

□実績

○国の創業関係補助金の管理事務を適正に実施
 ○未報告企業への報告の働きかけ

○報告書の受付件数:111 件
 (採択者数:H24 補正分:179 件、H25 補正分 92 件)
 ○未報告企業への通知送付
 ○収益納付:5 件

□令和元年度の課題

○未報告企業への報告書の提出を引き続き働きかけるとともに、現況確認を実施する。

(3) 中小企業イノベーション促進支援事業（チーム型支援事業等） （県・自 86,591 千円）

①チーム型支援

新たな成長を目指している企業を対象に、複合的で高度な経営課題を解決するため、全国トップレベルの専門家（マーケティング・セールス・ブランディング、デザイン、知的財産、生産管理）等で構成された支援チームを派遣し、伴走型による集中支援を行った。

随時受付しており、選定審査会を経て支援企業を決定し、平成 30 年度は 15 社への支援を目標とする中、16 社の支援を決定した。

対 象	代表者のほか、開発、営業担当者も事業に参画できる体制が構築できる県内中小企業 <例> ✓ 今ある商品・サービスをブランド化して、全国・海外のお客様にもっと知ってもらいたい! ✓ 新商品を作ったが、他社や大手に真似されないためにどうしたらいいのか? ✓ 商品をもっと効率よく作りたい、価格を下げて競争力をつけたい! ✓ 新商品・新サービスを開発したが、どこに、誰に、どんな方法で売っていけばいいのか?
事業の 特徴	・全国レベルの専門家による支援 ・最長1年間の支援(年度をまたぐことも可能) 随時受け付け、申込から約1か月で調査・採否決定 ・企業の希望に応じ、支援内容をカスタマイズ
費用 負担	・最大 24 回まで専門家謝金の 9 割を産振構が負担(企業負担 1 割) ・事業成果を高めるために必要経費を産振構が負担 例:テストマーケティングの実施 (企業負担 原則 5 割)

《実績》

【支援決定企業】

	企業名	支援対象	支援分野	専門家
第1回 (4/20)	寿マナック(株)	商品開発によるマーケティング戦略及びブランディング戦略	ブランディング マーケティング	杉原広宣 福田真弓
第2回 (7/31)	日東食品工業(株)	開発商品及び既存商品のマーケティング戦略	マーケティング	大平 孝
	(株)広島ヤンマー商事※	商品開発及びマーケティング戦略、販路開拓	ブランディング 販路開拓 デザイン開発	塚元信二 ダニエル・クイントナー
	あさみやフーズ(株)※	商品開発及びマーケティング戦略、販路開拓	ブランディング 販路開拓 デザイン開発	柳原勝浩 ダニエル・クイントナー
	(株)さくらや※	商品開発及びマーケティング戦略、販路開拓	ブランディング 販路開拓 デザイン開発	柳原勝浩 ダニエル・クイントナー
	(有)なか川※	商品開発及びマーケティング戦略、販路開拓	ブランディング 販路開拓 デザイン開発	塚元信二 ダニエル・クイントナー
	(株)うすい中華※	商品開発及びマーケティング戦略、販路開拓	ブランディング 販路開拓 デザイン開発	塚元信二 ダニエル・クイントナー
	(有)イタリー亭※	商品開発及びマーケティング戦略、販路開拓	ブランディング 販路開拓 デザイン開発	柳原勝浩 ダニエル・クイントナー
第3回 (8/28)	山部印刷(株)	5S 改善の基盤作りと品質の作り込みによるリーダーの管理力強化	生産管理等	大西農夫明
	石原工作(株)	生産性向上による短納期対応生産の確立	生産管理等	大西農夫明

	企業名	支援対象	支援分野	専門家
第4回 (10/23)	砂谷(株)	生産性向上 商品開発及びマーケティング 戦略、販路開拓	生産管理等 マーケティング	大西農夫明 大平 孝
第5回 (11/9)	宏栄産業(有)	5S の徹底による生産性向上	生産管理等	大西農夫明
第6回 (1/16)	(有)ハイマックス	生産性向上及び組織力強化の推進	生産管理等	大西農夫明
第7回 (3/27)	尾道造酢(株)	マーケティング戦略及びデザイン 開発、販路開拓支援	マーケティング	大平 孝
	(株)誠企画	マーケティング戦略及びデザイン 開発、販路開拓支援	マーケティング	大平 孝
	(有)三谷製菓	生産性向上、マーケティング 戦略、販路開拓	生産管理等 マーケティング	大西農夫明 大平 孝

※販売戦略塾ブラッシュアップ企業

【セミナー等の開催】

新たな支援案件を発掘するため、チーム型支援事業の専門家等を活用した実践的なセミナーを開催した。

<5Sの定着と生産性向上セミナー>

	開催日・場所・参加者数	概要
5Sの定着 と生産性向上 セミナー	5/17(木) 広島 72社 99名 6/8(金) 福山 80社 110名	[セミナー] 講師:アイ・イー経営 代表 大西農夫明 氏 [支援企業事例発表] ・生産管理の仕組み作りと組織力強化 発表者:日本バレル工業(株) ・新工場移転に伴うレイアウト決めと組織体制の再構築 発表者:(株)エムテック ・No.1を目指す5S改善と稼働率向上及び品質向上 発表者:(株)内海機械 ・生産・工程管理の改善による生産性向上及び5Sの取り組み 発表者:アイエスツール

《評価》

□平成30年度目標

□実績

①採択企業数:15社	①目標の15社を上回る16社を採択し支援決定した。
②多種多様なものづくり系企業への支援	②「5Sの定着と生産性向上セミナー」受講企業4社に専門家による工場診断を行うなど、多種多様なものづくり系企業への支援を実施した。
③AI・IoTコーディネーターの確保	③AI・IoTコーディネーターの確保に向け情報収集に努めている。

□令和元年度の課題

- 金融機関を始めとした他の支援機関等との連携強化等により、支援案件の発掘に取り組んだ結果、目標である採択企業数 15 社をクリアすることができた。
- 引き続き、採択企業数 15 社を目標に支援機関等との連携強化に努めるとともに、AI、IoTによる業務課題解決に対応できる専門家の確保を図るなど、多種多様なものづくり系企業への支援拡大に取り組んでいく。
- また、支援企業における成果(売上増、利益率向上等)をより確実なものとしていくため、現行制度を検証するとともに必要な見直しを行う。

②販売力強化支援「販売戦略塾」

「売れる商品のための仕組みづくり」を習得し、自社のマーケティング力を強化することを目的として、販路開拓の専門家によるマーケティングセミナーや個別商品のブラッシュアップ（チーム型支援）、商談会等の入口から出口までの一気通貫の支援プログラムを実施した。

《実績》

【マーケティング力強化セミナー】

	開催日・会場・参加者数	セミナー内容
第1回マーケティング力強化セミナー	5/25(金) 広島 64社 81名 5/26(土) 福山 21社 24名	[マーケティングセミナー] 講師:株CDG 代表取締役社長 大平 孝氏 [支援企業事例発表] 発表者:(有)カスターニヤ 代表取締役社長 竹村 茂氏
第2回マーケティング力強化セミナー	6/14(木) 広島 58社 69名 6/15(金) 福山 20社 24名	[マーケティングセミナー] 講師:株CDG 代表取締役社長 大平 孝氏

【県内商談会】

開催時期	平成 30 年 11 月 28 日
開催場所	広島県情報プラザ
参加企業	(株)広島ヤンマー商事、あさみやフーズ(株)、(有)なか川、(株)うすい中華、(有)イタリー亭、(有)カスターニヤ、日東食品工業(株)、イトク食品(株)、(有)織田製菓、(株)島ごころ、フジワタン本舗(株)、(有)マルイチ商店、スモールバイクショップ、(有)マリンスター、(株)ひまわりフーズ、(株)中元本店、(株)上万糧食製粉所、(株)花房養蜂園、(株)レーモンド、(株)川崎屋、(株)上野屋本舗、(有)土井酒店、オクヒロ食品(株)、サンフーズ(株)、(株)くれさき本店、(株)みなり、マチモト(株)、(株)神石高原〔以上28社〕
バイヤー	ヴェルジヴァンガードプレス(株)、(株)高島屋、(株)日本百貨店、(株)広島三越、ユーアールエー(株)、(株)東急ハンズ、スマイルサークル(株)、(株)紀ノ國屋、三井食品(株)中四国支社、中村角(株)、伊藤忠食品(株)西日本営業本部、アクト中食(株)、(株)ジェアールサービスネット〔以上13社〕
成果	商談件数:146件、商談継続件数:68件(H31.3.31現在)

【販売会（テスト・マーケティング）】

開催時期	平成 31 年 2 月 9 日～22 日
開催場所	クイーンズ伊勢丹小石川店
参加企業	(株)広島ヤンマー商事、あさみやフーズ(株)、(有)なか川、(株)うすい中華、(有)イタリー亭、(株)さくらや、(有)織田製菓、(有)珍味処なかむら〔以上8社〕

《評価》

□平成 30 年度目標

- ①マーケティング力強化セミナーの開催
(2回シリーズ)
広島会場: 80名/50社
福山会場: 60名/40社
- ②ブラッシュアップ申込発掘企業: 10社
- ③県内商談会の開催:
バイヤー10社/メーカー20社
- ④首都圏での販売会を開催: 1回(2週間程度)
- ⑤同行営業: 6社×2回

□実績

- ①マーケティング力強化セミナーの開催
福山会場において目標参加者数を下回った。
- ②ブラッシュアップ申込企業: 8社(選定6社)
→チーム型支援
- ③県内商談会の開催
バイヤー13社/メーカー28社
- ④首都圏での販売会(テストマーケティング)
クイーンズ伊勢丹小石川店にて14日間実施(既存支援企業を含む8社18アイテムを販売)
- ⑤同行営業
ブラッシュアップ支援企業6社の同行営業等支援を実施(計12回)

□令和元年度の課題

- セミナー開催に当たっての実施方法(開催場所・周知方法等)等から参加者数が伸び悩んだこともあり、ブラッシュアップ支援申込数が目標を下回ったが、各ブラッシュアップ支援商品においては、販路開拓支援による新規取引先の開拓などの一定の成果が見られた。
- ブラッシュアップ企業数の確保を見据えた新規支援案件の発掘体制強化を目的に、セミナー開催会場及び関係機関とのPR協力体制等の見直しを行い実施することとする。

③販路開拓支援

各支援メニューと連携して、多種多様な専門見本市・商談会・販売会への出展支援と、そこでの商談状況・販売実績のフィードバックにより、商品全体のブランド価値向上等を行うOJT方式の支援を実施した。(支援する企業をグループ化し、チーム型支援の新たなモデル事例を構築)

- 広島県品の支援施策共通の屋号「ヒロシマ・デパートメント」を冠し、強力な競合相手となるブランド品・大手商品に埋没しないために、類似する広島県品を集団化(セレクトショップ化)。
- 個別企業及び事業全体に係るブランド価値の向上「ブランディング」を図るとともに、百貨店での販売等などの小売・商社等と連携し、具体的な出口戦略を用意して、市場化・事業化を推進する取組み。

《実績》

【瀬戸内広島レモンをテーマとした販路開拓支援〔瀬戸内広島檸檬 avenue〕】

広島県を代表する『レモン』にスポットを当て、広島県内事業者が製造・販売している瀬戸内広島レモン関連商品を集団化させ、キャラバン隊『瀬戸内広島檸檬 avenue』を編成し、販路拡大を行った。

<三井食品(株) フードショー2018>

会 期	平成 30 年 6 月 20 日(水)～21 日(木)[2 日間]
会 場	パシフィコ横浜 ホールC、ホールD (神奈川県横浜市西区みなとみらい 1-1-1)
出 品	7 事業者 / 73 品

<第13回広島県信用金庫合同ビジネスフェア>

会期	平成30年10月25日(木)[1日間]
会場	広島県立総合体育館(広島市中区基町4-1)
出品	17事業者/101品

<2019年春夏 第28回三井食品関西メニュー提案会>

会期	平成31年2月21日(木)[1日間]
会場	大阪マーチャンダイズ・マート(大阪府大阪市中央区大手前1-7-31)
出品	4事業者/39品

【首都圏展示会への共同出展】

販売戦略塾やチーム型支援等による支援企業を対象に、首都圏で開催する大規模展示会への出展による商談等の機会を創出した。

展示会	第53回スーパー・マーケット・トレードショー2019
開催時期	平成31年2月13日～15日
開催場所	幕張メッセ
出展支援企業	(株)うすい中華、寿マナック(株)、(株)さくらや、(有)瀬戸鉄工、(有)なか川、(株)広島ヤンマー商事、フジワタン本舗(株)、(有)勉強堂、井辻食産(株)、(株)上万糧食製粉所、(有)カスターニヤ、日東食品工業(株)、ヤマトフーズ(株) [以上13社]
成果	商談件数:448件、商談見込件数:250件、成約件数:2件(H31.3.31現在)

【広島県ブランドショップ「TAU」と連携した販路開拓支援】

広島県商工労働局 ひろしまブランド推進課が所掌する「TAU」と連携し、販路開拓支援を行った。

<個別商談会(第1回)>

会期	平成30年10月5日(金)[1日間]
会場	ひろしまブランドショップTAU 3F(東京都中央区銀座1-6-10)
内容	(買い手)バイヤー:12社 (売り手)事業者:9事業者

<個別商談会(第2回)>

会期	平成31年1月18日(金)[1日間]
会場	ひろしまブランドショップTAU 3F(東京都中央区銀座1-6-10)
内容	(買い手)バイヤー:13社 (売り手)事業者:14事業者

《評価》

□平成30年度目標

□実績

①「TAU」との日常的な事業連携を継続	①「TAU」との共催による商談会(2回)を開催した。 (買い手)バイヤー:25社 (売り手)事業者:23社
②「ヒロシマ・デパートメント」による出展支援	②「ヒロシマ・デパートメント」によるサポーター企業と連携し、展示会(3回)への出展支援を実施した。(28事業者/213品)
③機会を捉え、サポーター企業登録(大手食品卸・問屋等)等の依頼	③サポーター企業登録等に向け、サポーター企業候補者へのアプローチを実施中である。
④首都圏展示会への共同出展:12社	④首都圏展示会共同出展 13社の出展支援を実施(スーパーマーケット・トレードショー2019)

□令和元年度の課題

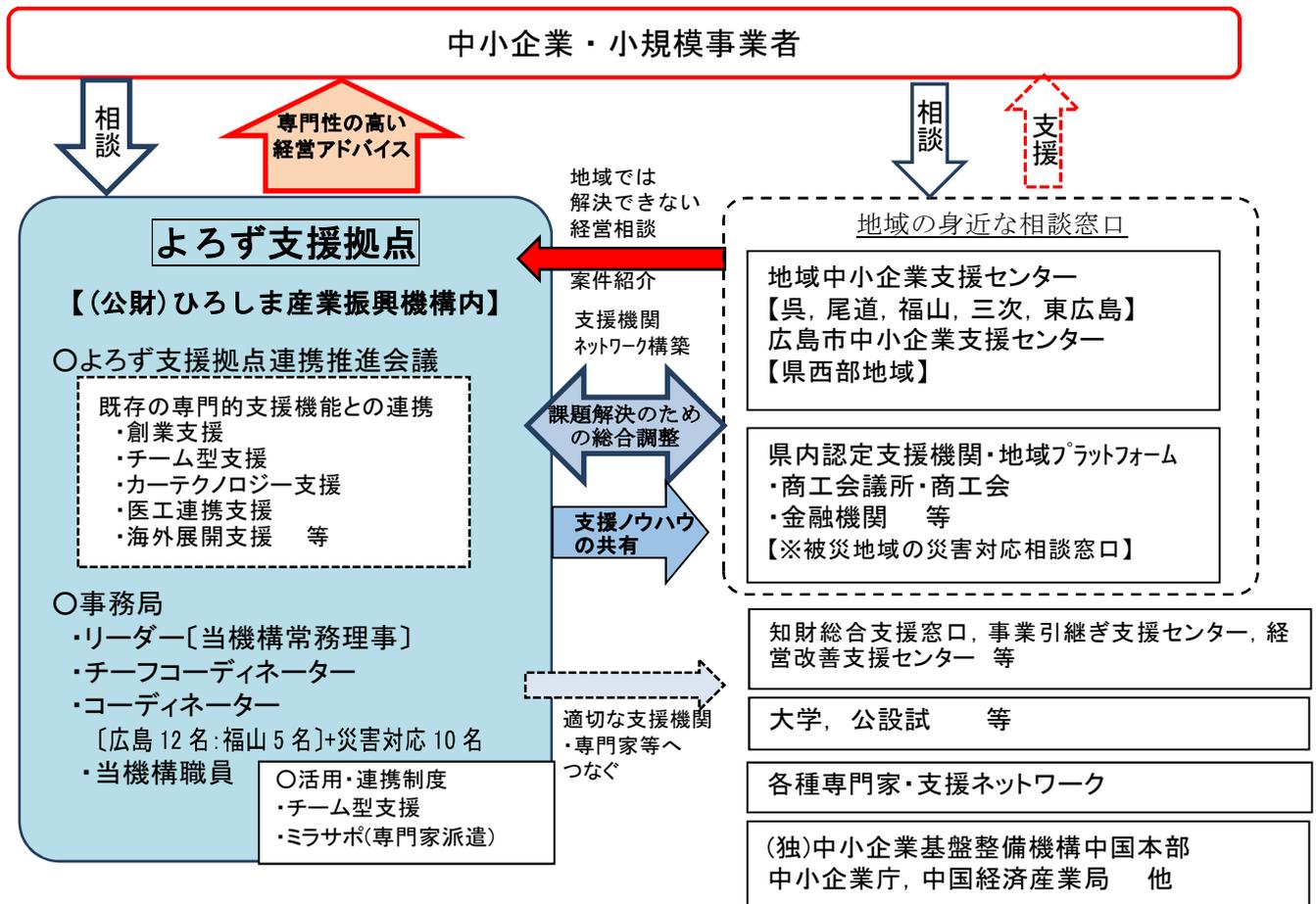
- 「ヒロシマ・デパートメント」による展示会等への出展支援を始め、TAUと連携した商談会の開催等により、新たな販路の開拓等、一定の成果は出てきているが、認知度不足等もあり、登録商品やサポーター企業などの登録件数が伸びていない。
- チーム型支援(専門家派遣)・販売戦略塾との連携を強化し、新たな登録商品の発掘に取り組むとともに、商社、小売、広報媒体事業者等への登録に向けた働きかけとして、訪問活動を強化する。

(4) よろず支援拠点事業

(国 69,543千円)

「よろず支援拠点」は、中小企業・小規模事業者の売上拡大、経営改善など、経営上のあらゆる相談に対応する経営相談所として、平成26年6月に国が各都道府県に1か所設置した。広島県よろず支援拠点のコーディネーターを中心とする専門スタッフが相談を伺い、適切な解決方法の提案等を行った(相談無料、回数制限なし)。

また、平成30年7月豪雨災害の被災事業者の復旧・復興に向け、被災地の商工会等にコーディネーターが常駐し、被災企業の困りごと相談に対応するなど、的確な支援を実施した。



<専門スタッフ>

	氏名(資格等)	強み・得意分野等
チーフ コーディネーター	瀧熊 弘之 (公認会計士)	<ul style="list-style-type: none"> ・資金調達のための事業計画策定支援 ・原価計算の導入によるコスト削減の支援 ・事業継承スキームの提案 ・株式上場の支援
コーディネーター (広島本部)	弓崎 伸彦 (元みずほ情報総研株) 経営戦略コンサルタント	<ul style="list-style-type: none"> ・経営戦略、IT戦略、環境戦略の立案、新規事業開発 ・産学官連携、農商工連携、6次産業化の事業化
	落野 洋一 (中小企業診断士)	<ul style="list-style-type: none"> ・新事業展開や新商品開発の支援 ・経営革新計画などの中期経営計画策定支援 ・知的資産経営の活用支援
	児玉 学 (中小企業診断士) ITコーディネーター	<ul style="list-style-type: none"> ・IT経営 ・まちづくり・不動産再生 ・行動分析・業務改善
	安原 弘勝 (株)ゴールドボンド 販路開拓コーディネーター	<ul style="list-style-type: none"> ・地域産品のブラッシュアップ ・農産・農産加工品の商品開発・販売
	渡鍋 雅士 (デザイナー)	<ul style="list-style-type: none"> ・プロダクトデザイン ・グラフィックデザイン ・パッケージデザイン
	福田 稔 (シニア・インキュベーション・) マネージャー	<ul style="list-style-type: none"> ・経営全般 ・ビジネスプラン ・商品開発 ・業務提携 ・まちづくり 等
	榎 志織 (中小企業診断士)	<ul style="list-style-type: none"> ・経営戦略 ・集客支援 ・新商品・サービスの企画・提案 ・人材育成 等
	金子 昌稔 (弁護士)	<ul style="list-style-type: none"> ・法律(債権の保全・回収、労務問題、廃業関係等)
	正岡 稔 (中小企業診断士) 社会保険労務士	<ul style="list-style-type: none"> ・経営計画策定支援 ・人事・労務 ・補助金・助成金活用 等
	大森 鮎 (デザイナー)	<ul style="list-style-type: none"> ・グラフィックデザイン・パッケージデザイン ・ブランディング ・SNS活用・広報戦略 ・まちづくり等地域資源活用 等
	大島 季子 (中小企業診断士)	<ul style="list-style-type: none"> ・マーケティング支援 ・営業戦略・営業管理・店頭販促・飲食店販促 ・イベント・集客
	瀬戸 一威 (中小企業診断士) ITコーディネーター	<ul style="list-style-type: none"> ・IT経営・IT活用による生産性向上 ・営業戦略・営業改革 ・組織／業務改革 等
コーディネーター (福山サテライト)	伊豆田 功 (中小企業診断士)	<ul style="list-style-type: none"> ・中期経営計画策定支援 ・組織活性化支援 ・人材育成
	岡本 泰之 (中小企業診断士)	<ul style="list-style-type: none"> ・創業支援 ・事業再生支援 ・経営革新支援
	渡辺 幸三 (セイムファクトリ代表)	<ul style="list-style-type: none"> ・マーケティング支援 ・広告宣伝支援
	三島 基 (ITコーディネーター)	<ul style="list-style-type: none"> ・IT経営・情報化 ・IT活用による生産性向上 ・情報セキュリティの支援 等

	有木 一輝 (税理士)	・事業承継 ・資金繰り ・事業計画策定支援 等
コーディネーター ※平成30年豪雨災害対応派遣のため、 コーディネーターを増員	森若 壽英 (中小企業診断士)	・中期経営計画策定支援 ・原価管理支援 等
	牧野 恵美子 (中小企業診断士)	・中期経営計画策定支援 ・接客マナー・コミュニケーション教育 等
	齋藤 泰 (中小企業診断士)	・中期経営計画策定支援 ・IT導入による業務改善 ・地域活性化支援 等
	廣幡 英和 (公認会計士 税理士)	・事業計画策定・原価計算の導入支援 ・管理会計の導入支援 ・事業継承の支援・事業再生の支援
	下西 祥平 (弁護士)	・法律全般
	西 剛謙 (弁護士)	・法律全般
	山崎 均 (理学修士)	・産学官連携・技術指導 ・新事業展開の支援 ・補助金等申請支援 等
	三村 信之 (中小企業診断士 ITコーディネーター)	・中期経営計画策定支援 ・事業戦略・マーケティング支援 等
	柳川 治久 (中小企業診断士)	・経営・新事業展開等の計画書作成支援 ・原価管理・5S活動支援 ・補助金等申請支援 等
	隅田 慶子 (経営学修士)	・新製品・新規事業・社内ベンチャー支援 ・起業・創業の支援

<相談対応支援方法>

	内 容
専門性の高い経営アドバイス	他の支援機関では十分に解決できない売上拡大や経営改善等の経営課題の解決に向けた提案(他の支援機関で解決可能な経営課題についても、事業者から相談を受けた場合には対応)
課題解決のための総合調整	① 相談内容に応じた適切な支援機関の紹介 ② 経営課題に対応した支援機関の相互連携のコーディネート ③ 他の支援機関による経営支援の実態を踏まえ、足らざるところを補い、地域の中小企業に対して、地域全体として最高水準の支援を実現
他の支援機関に対する支援、ノウハウの共有	経営相談の解決に必要な提案方法やこれまでに支援した事例など本事業を実施することを通じて蓄積された支援ノウハウの他の支援機関への共有

《実績》

【相談対応状況：月別】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	前年比
来訪 相談者数	145	153	177	164	185	299	252	283	266	255	289	295	2,763	144.2%
相談対応 件数	287	315	358	342	379	592	515	574	559	517	597	581	5,616	138.9%

【出張相談会開催状況】

<金融機関との共催>

金融機関名	支店名	所在地	開催日	相談者数
広島銀行	本店(※)	広島市南区西蟹屋 1-1-7	H30. 4.18(水)	1 社
	戸坂	広島市東区戸坂千足 1-22-16	H30. 5.17(木)	5 社
	平和大通り	広島市西区東観音町 3-17	H30. 5.21(月)	6 社
	本店(※)	広島市南区西蟹屋 1-1-7	H30. 5.29(火)	3 社
	本店(※)	広島市南区西蟹屋 1-1-7	H30. 6. 6(水)	6 社
	西風新都	広島市安佐南区伴南 4-2-9	H30. 6.11(月)	6 社
	五日市	広島市佐伯区楽々園 4-2-16		
	本店(※)	広島市南区西蟹屋 1-1-7	H30. 6.14(木)	5 社
	十日市	三次市十日市中 2-13-26	H30. 6.19(火)	3 社
	向洋	広島市南区青崎 1-8-17	H30. 6.28(木)	6 社
	本店(※)	広島市南区西蟹屋 1-1-7		
	本店(※)	広島市南区西蟹屋 1-1-7	H30. 7. 5(木)	2 社
	本店(※)	広島市南区西蟹屋 1-1-7	H30. 7.11(水)	4 社
	宮島口	廿日市市宮島口 1-5-3	H30. 7.19(木)	6 社
	平和大通り	広島市西区東観音町 3-17		
	本店(※)	広島市南区西蟹屋 1-1-7	H30. 7.25(水)	5 社
	松永	福山市今津町 2-1-14	H30. 7.27(金)	6 社
	本店(※)	広島市南区西蟹屋 1-1-7	H30. 7.31(火)	3 社
	本店(※)	広島市南区西蟹屋 1-1-7	H30. 8. 2(木)	6 社
	高陽	広島市安佐北区亀崎 1-2-20	H30. 8. 6(月)	6 社
	本店(※)	広島市南区西蟹屋 1-1-7	H30. 8. 9(木)	5 社
	宮島口	廿日市市宮島口 1-5-3	H30. 8.27(月)	5 社
	祇園	広島市安佐南区西原 5-19-10		
	本店(※)	広島市南区西蟹屋 1-1-7	H30. 8.30(木)	5 社
	広島西	広島市西区井口明神 1-17-4	H30. 9. 4(火)	6 社
	甲山	世羅郡世羅町大字西上原 111-1	H30. 9. 6(木)	5 社
	御調	尾道市御調町大田 10-1		
	三次十日市	三次市十日市中 2-13-26	H30. 9.12(水)	6 社
	庄原	庄原市中本町 2-1-7		
	本店(※)	広島市南区西蟹屋 1-1-7	H30. 9.13(木)	6 社
	福山手城	福山市東手城町 1-1-6	H30. 9.21(金)	5 社
	本店(※)	広島市南区西蟹屋 1-1-7	H30. 9.27(木)	5 社
	本店(※)	広島市南区西蟹屋 1-1-7	H30. 9.28(金)	2 社
本店(※)	広島市南区西蟹屋 1-1-7	H30.10.11(木)	6 社	
平和大通り	広島市西区東観音町 3-17	H30.10.17(水)	6 社	
安芸津	東広島市安芸津町三津 4255-1	H30.10.19(金)	4 社	
本店(※)	広島市南区西蟹屋 1-1-7	H30.10.30(火)	4 社	

金融機関名	支店名	所在地	開催日	相談者数
広島銀行	十日市	三次市十日市中 2-13-26	H30.11. 6(火)	3 社
	本店(※)	広島市南区西蟹屋 1-1-7	H30.11. 8(木)	1 社
	可部	広島市安佐北区可部 3-20-21	H30.11.14(水)	6 社
	十日市	三次市十日市中 2-13-26	H30.11.14(水)	5 社
	本店(※)	広島市南区西蟹屋 1-1-7	H30.11.15(木)	6 社
	本店(※)	広島市南区西蟹屋 1-1-7	H30.11.29(木)	4 社
	安	広島市安佐南区上安 2-4-37	H30.12.11(火)	4 社
	己斐	広島市西区己斐本町 1-9-26		
	向洋	広島市南区 青崎 1 丁目 8-17	H30.12.12(水)	4 社
	本店(※)	広島市南区西蟹屋 1-1-7	H30.12.13(木)	6 社
	広島西	広島市西区井口明神 1 丁目 17-4	H30.12.17(月)	6 社
	本店(※)	広島市南区西蟹屋 1-1-7	H30.12.20(木)	6 社
	本店(※)	広島市南区西蟹屋 1-1-7	H30.12.26(水)	6 社
	本店(※)	廿日市市新宮 1-9-34	H31. 1.15(火)	4 社
	本店(※)	広島市南区西蟹屋 1-1-7	H31. 1.17(木)	5 社
	河内	東広島市河内町中河内 1261-2	H31. 1.18(金)	5 社
	本店(※)	広島市南区西蟹屋 1-1-7	H31. 1.29(火)	6 社
	府中	府中市府川町 335-1	H31. 2.15(金)	5 社
	本店(※)	広島市南区西蟹屋 1-1-7	H31. 2.20(水)	3 社
	西条	東広島市西条昭和町 2-7	H31. 2.22(金)	5 社
本店(※)	広島市南区西蟹屋 1-1-7	H31. 2.27(水)	5 社	
本店(※)	広島市南区西蟹屋 1-1-7	H31. 3.20(水)	1 社	
	計		59 回	245 社
広島県 信用組合	海田	安芸郡海田町窪町 4 番 41 号	H30. 5.18(金)	4 社
	五日市	広島県広島市佐伯区海老園 2-4-6	H30. 6.12(火)	5 社
	松永	福山市今津町 2-1-18	H30. 6.27(水)	6 社
	舟入	広島市中区舟入本町 13-1	H30. 7.12(木)	5 社
	廿日市	廿日市市串戸 4-9-53	H30. 8.21(火)	5 社
	本店	広島市中区富士見町 1-17	H30. 9. 5(水)	10 社
	尾道	尾道市高須町 1263-1	H30.10.24(水)	5 社
	熊野	安芸郡熊野町中溝 1-3-10	H30.11.13(火)	5 社
	庚午	広島市西区庚午中 3-7-12	H30.11.21(水)	5 社
	五日市北	広島市佐伯区八幡東 1-28-28	H31. 2.21(木)	5 社
	福山	福山市緑町 2 番 1-1 号	H31. 3. 7(木)	5 社
	因島	尾道市因島田熊町 1153	H31. 3.14(木)	5 社
		計		12 回

金融機関名	支店名	所在地	開催日	相談者数
もみじ銀行	呉営業部	呉市本通 2-3-7	H30. 5.14(月)	11 社
	海田	安芸郡海田町窪町 4-45	H30. 5.24(木)	7 社
	西条	東広島市西条岡町 10-18	H30. 6.18(月)	8 社
	商工センター	広島市西区井口明神 1-16-3	H30. 6.26(火)	10 社
	福山	福山市延広町 1-28	H30. 7.10(火)	8 社
	可部	広島市安佐北区可部 5-1-6	H30. 7.26(木)	6 社
	本店営業部	広島市中区胡町 1-24	H30. 8. 8(水)	12 社
	安芸府中	安芸郡府中町本町 4 丁目 7-18	H30.11.16(金)	6 社
	天満	広島市西区観音町 8-13	H30.11.19(月)	4 社
	呉営業部	呉市本通 2 丁目 3-7	H30.12. 5(水)	5 社
	廿日市	廿日市市可愛 12-14	H31. 2. 7(木)	5 社
	福山	福山市延広町 1-28	H31. 2.18(月)	8 社
	因島田熊	尾道市因島田熊町 1140-1	H31. 2.25(月)	5 社
	本店営業部	広島市中区胡町 1-24	H31. 3. 5(火)	1 社
	古市	広島市安佐南区古市 1-30-21	H31. 3.13(火)	4 社
		計		15 回
中国銀行	東城	庄原市東城町川東 1340-1	H30. 6.13(水)	4 社
	府中	府中市府川町 1-3	H30. 7.17(火)	13 社
	東城	庄原市東城町川東 1340-1	H30.12.26(水)	4 社
	府中	府中市府川町 1-3	H31. 3.12(火)	15 社
		計		4 回
広島信用金庫	大竹	大竹市新町 1-5-5	H30. 8. 1(水)	4 社
	西条	東広島市西条昭和町 3-23	H30. 8. 9(木)	5 社
	西条	東広島市西条昭和町 3-23	H30. 8.10(金)	5 社
	西部	広島市西区草津新町 2-26-2	H30. 9.13(木)	4 社
	海田	安芸郡海田町堀川町 3-6	H30.11. 9(金)	5 社
	廿日市中央	廿日市市下平良 1-3-36	H30.11.20(火)	5 社
	大竹	大竹市新町 1-5-5	H30.11.28(水)	4 社
	緑井	広島市安佐南区緑井 3-12-10	H30.12. 4(火)	5 社
	沼田	広島市安佐南区沼田町大字件 6304-4	H30.12.13(木)	5 社
	西風新都	広島市安佐南区伴南 1-5-30-1		
	可部	広島市安佐北区可部 2-7-27	H30.12.21(金)	5 社
	高陽	広島市安佐北区口田 3-1-35	H31. 1.16(水)	5 社
	安	広島市安佐南区上安 2-13-26	H31. 1.17(水)	5 社
	宇品	広島市南区宇品海岸 2-15-3	H31. 1.23(水)	5 社
	呉	呉市中通 2-4-7	H31. 1.24(木)	5 社
	古市	広島市安佐南区古市 2-35-4	H31. 2. 5(火)	5 社

金融機関名	支店名	所在地	開催日	相談者数
広島信用金庫	五日市中央	広島市佐伯区五日市中央 7-11-5	H31. 2.13(水)	5 社
	土橋	広島市中区土橋町 3-15	H31. 2.14(木)	5 社
	安芸府中	安芸郡府中町大須 1-19-16	H31. 2.18(月)	5 社
	牛田	広島市東区牛田中 1-1-21	H31. 2.19(火)	5 社
	己斐	広島市西区己斐本町 1-19-1	H31. 3. 6(水)	5 社
	福山	福山市光南町 2 丁目 4-15	H31. 3.15(金)	5 社
	五日市	広島市佐伯区海老園 2-4-13	H31. 3.20(水)	5 社
	西部	広島市西区草津新町 2-26-2	H31. 3.28(木)	5 社
	計			24 回
商工中金	広島	広島市中区大手町 2-1-2	H31. 3.11(月)	6 社
	計			1 回
合計			115 回	564 社

※ 広島銀行の本・支店間のテレビ会議システムを活用した相談会 29 回

<市町・支援機関との共催>

地域	開催日	場所	共催機関名	相談者数
広島市	H30. 6. 4(月)	五日市商工会 (広島市佐伯区)	五日市商工会	4 社
	H30.12.19(水)	高陽町商工会 (広島市安佐北区)	高陽町商工会	6 社
三原市	H30. 5. 8(火)	三原商工会議所 (三原市皆実)	三原市、三原商工会議所、 三原臨空商工会 (原則、定期的に隔月開催)	5 社
	H30. 7.27(金)			5 社
	H30. 9.11(火)			4 社
	H30.11.20(火)			2 社
	H31. 1.30(水)			2 社
	H31. 3.19(火)			1 社
尾道市	H30. 7.24(火)	因島商工会議所 (尾道市因島土生)	因島商工会議所	7 社
	H31. 2.14(木)			7 社
	H30. 8.24(金)	尾道商工会議所 (尾道市土堂)	尾道市、尾道商工会議所、 尾道地域中小企業支援センター	9 社
	H30.12.17(月)			10 社
福山市	H30. 6.21(木)	広島県福山庁舎 (福山市三吉町)	広島県	4 社
	H30. 8.16(木)			3 社
	H30. 9.20(木)			2 社
	H30.10.18(木)			1 社
	H31. 2.21(木)			2 社
府中市	H30. 8. 3(金)	府中商工会議所 (府中市元町 445-1)	府中商工会議所	3 社

地 域	開催日	場 所	共催機関名	相談者数
東広島市	H30. 5. 7(月)	広島県央商工会 (東広島市河内町)	広島県央商工会	6 社
安芸郡	H30. 8.20(月)	府中町商工会本所 (安芸郡府中町)	府中町商工会	2 社
	H30. 8.29(水)	広島安芸商工会 (安芸郡海田町)	広島安芸商工会	4 社
合 計			21 回	89 社

<災害対応相談分：9月3日から派遣>

地 域	場 所	共催機関名	派遣回数	相談者数	相談対応案件
広島市	広島東商工会 瀬野川支所 (安芸区瀬野)	広島東	35 回	23 社	77 件
	広島東商工会 矢野支所 (安芸区矢野)		119 回	29 社	178 件
	高陽町商工会 (安佐北区高陽町)	高陽町商工会	69 回	55 社	106 件
呉市	呉広域商工会 安浦支所 (呉市安浦町)	呉広域商工会	113 回	45 社	117 件
	呉広域商工会 音戸支所 (呉市音戸町)		7 回	4 社	8 件
	呉広域商工会 川尻支所 (呉市川尻町)		1 回	1 社	1 件
	呉広域商工会 倉橋支所 (呉市倉橋町)		1 回	2 社	2 件
三原市	三原臨空商工会 (三原市本郷町)	三原市、三原商工会議 所、三原臨空商工会	104 回	73 社	203 件
福山市	福山市商工会議所 (福山市西町)	福山商工会議所	45 回	37 社	51 件
東広島市	安芸津町商工会 (東広島市安芸津町)	安芸津町商工会	15 回	13 社	26 件
合 計			509 回	282 社	769 件

※上記の他、スポットで熊野町商工会(安芸郡熊野町)へ派遣対応(派遣回数:1回、相談者数:3社、相談対応案件:3件)

【セミナーの開催】

開催日	内 容	参加者
H30. 6.28	○創業セミナー [共催:廿日市市(廿日市市しごと共創センター)] ・講演「事業計画の作成前に自分の思いを言語化してみよう！」 ・講師 広島県よろず支援拠点 コーディネーター 榎 志織(中小企業診断士) ・個別相談会	6 名 (個別相談 1 社)

《評価》

□平成30年度目標

□実績

<p>①来訪相談者数:2,200 者／年 相談対応件数:4,620 件／年を目標に推進</p> <p>②平成30年7月豪雨被災事業者に対する的確な支援を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体制の強化 ・商工会等との連携 ・グループ補助金に係る無利子融資制度の運用 <p>③継続的なフォローアップや他の支援機関との連携強化</p>	<p>①来訪相談者実績:2,763 者 相談対応実績:5,616 件 金融機関、商工会議所・商工会等との連携強化を図り、情報収集や意見交換を実施。出張相談会等を通じ相談者・相談件数が増加したこともあり、年度目標を達成した。</p> <p>②平成30年7月豪雨被災事業者の支援として以下を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10名の災害対応コーディネーターの増員 ・商工会および商工会議所と連携した相談窓口の設置(派遣回数510回、相談対応件数772件) <p>③連携支援機関である金融機関(広島銀行、もみじ銀行、広島信用金庫、商工組合中央金庫等)に対しては定期訪問や出張相談の開催、また、行員向け勉強会に出席、当拠点の利活用促進をするなど連携体制の構築を図った。 新たな連携協定をもみじ銀行、広島信用金庫、広島県信用組合と締結した。 広島県(商工労働局)との連携および情報共有を進め、経営革新認定審査会へオブザーバーとして出席するなど経営革新計画の申請企業の発掘等も行った。</p>
--	--

□令和元年度の課題

<p>○金融機関等との連携を強化するとともに、豪雨災害の被災事業者の復旧・復興に向け、迅速に被災企業の困りごと相談への対応を実施したことで実績は大幅に増加した。</p> <p>○コーディネーターの支援能力・支援意識の向上を図り、引き続き、専門性の高い高度な経営支援を実施する。</p> <p>○相談対応後のフォローアップや成果事例の輩出に努める。</p>

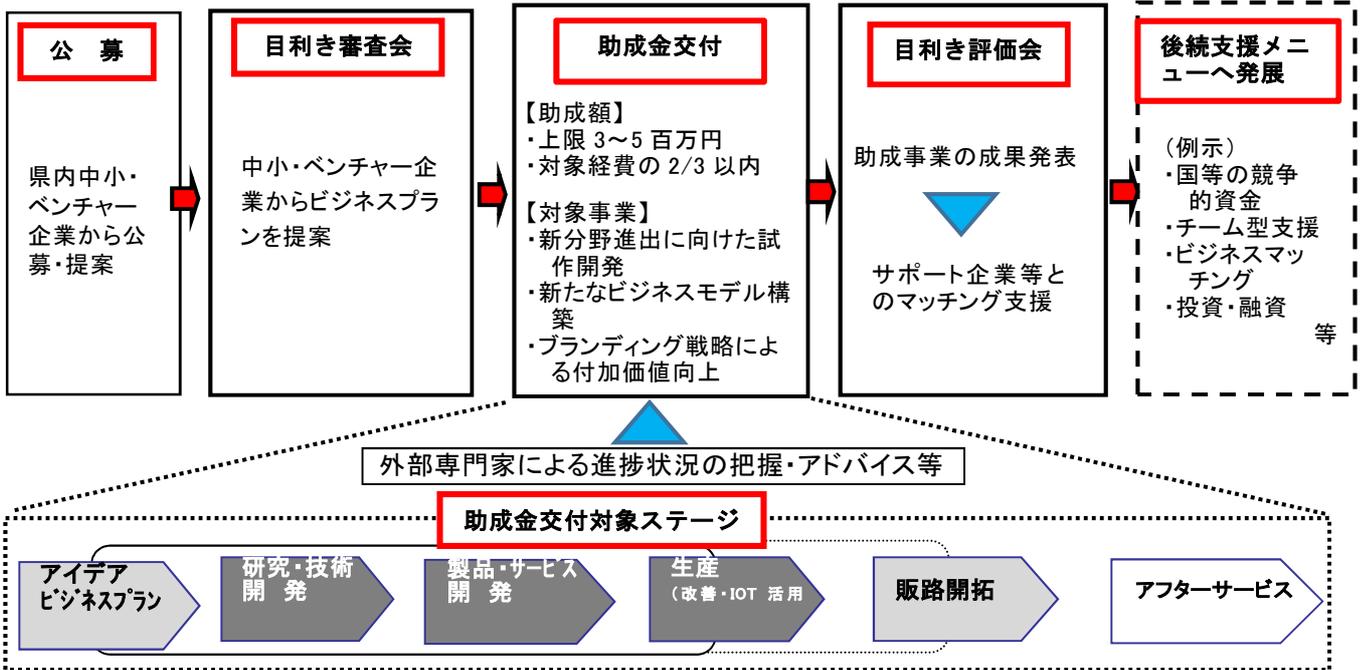
(5) 中小・ベンチャー企業チャレンジ応援事業

(県 12,607 千円)

新事業展開や新たなビジネスモデルの構築など、成長に向けたチャレンジを資金面から支援するもので、専門的アドバイス等による支援や国・県・産振構等の事業活用や連携と一体的に運用することにより、中小・ベンチャー企業の成長を加速させ、もって地域産業の振興に寄与することを目的として事業を推進した。

- 助 成 対 象：県内に本店又は主たる事業所を有する中小企業
- 助成限度額：300万円 但し、IT・IOT・AI 関連開発等は500万円
- 助 成 率：助成対象経費の2/3以内
- 募 集 期 間：平成30年4月20日～5月31日
- 採 択 金 額：14,349千円
- 採 択 件 数：6件 (うち IT・IOT・AI 関連開発1件)

【支援スキーム】



《実績》

【平成 30 年度 中小・ベンチャー企業チャレンジ応援事業 助成金採択一覧表】

(公募期間：H30.4.20～5.31)

(五十音順)

No.	申請者名	所在地	事業概要
1	エクセル(株)	福山市	害虫を寄せ付けにくく、人の目に優しい LED 街路灯の開発
2	(株)久保田鐵工所	広島市	コンピュータ・シミュレーションを活用した高効率ウォーターポンプの開発
3	(株)GoGyoJapan	広島市	WAMOJI 変換システムの AI を活用したクラウドサービスの開発
4	(株)坂本デニム	福山市	新しいビジネスモデルの確立による天然藍染色したデニム生地の大ロット供給の実現とデニム産地の活性化
5	高橋工芸(株)	府中市	壁面の「壁子さん」～素人が3日で3D家具図面作成のプロになる～壁面家具図面作成受託サービス開発事業
6	友鉄工業(株)	広島市	自動車用アルミニウム部品のプレス成形用量産金型の試作と性能試験

《評価》

平成 30 年度目標

実績

①採択件数:10 件以上 ②前年度助成事業者のステップアップ:2 社	①採択件数:6 件 採択者とのサポート会議を各事案1回以上開催し、進捗管理及び専門家からの技術面等のアドバイスを行った。 ②ステップアップ誘導については継続検討中
---------------------------------------	---

令和元年度の課題

○対象案件の掘り起こし ⇒県内支援機関(地方自治体、商工会議所、金融機関等)へ事業 PR を強化する。
○助成期間後に成長に向けた他の支援メニューへの展開(5 年で 10 件) ⇒支援シナリオを共有し、幅広い支援機能を結集する。
○助成期間後、概ね 3 年以内での事業化達成 ⇒アドバイスや目利き評価等を行い、サポート体制を強化する。

(6) 広島起業化センター運営事業

(県・自 15,014 千円)

広島中央サイエンスパーク内のインキュベーション施設「広島起業化センター(通称:クリエイトコア)」を運営し、入居者の起業化等を支援した。また、必要に応じて入居者に対して専門家を派遣して技術支援や経営相談などを実施した。

【広島起業化センター】

建物規模	鉄骨造 2 階建て 延床面積 1,454 ㎡
貸室	貸室 20 室(30~77 ㎡) 商談・交流室 2 室(2 階)
貸室料	1 ㎡当たり 2,000 円(税抜き)/月
現在空き室	9 室(1,6,8~10,16~19 号室)

【入居状況(3月末現在)】

貸室	面積	入居者	事業内容、開発テーマ等
2 号室	76.0 ㎡	(株)ワイドテクノ	リチウムイオン二次電池用負極材料の研究開発
3 号室 4 号室 11 号室 20 号室	76.0 ㎡ 30.0 ㎡ 44.4 ㎡ 44.4 ㎡	シグマ(株)	内面欠陥検査・径測定・真円度測定を同時に可能にするレーザー3次元内面検査装置の実用化開発
5 号室	35.0 ㎡	エスアンドエー・ラボ(株)	多次元ガスクロマトグラフ分析装置の開発 (平成 31 年 4 月末退去)
7 号室	46.1 ㎡	ADAPTEX(株)	化学プラントの生産効率を向上させるための、制御パラメーター チューニング技術をソフトウェアとしてシステム化する研究
14 号室	43.3 ㎡	エス・エス・アロイ(株)	医療用マイクロポンプの部品製造のための、通電熱加工技術を利用した拡散接合技術と量産技術の確立
12 号室 13 号室 15 号室	43.3 ㎡ 43.3 ㎡ 44.4 ㎡	(株)生体分子計測研究所	ナノテクノロジーとバイオテクノロジーを組み合わせた独自技術による遺伝子自動検査装置開発

《評価》

平成 30 年度目標

実績

①入居促進策(営業戦略)について 検討・実施 ②大規模修繕等の見直しも含めた 収支見通しの策定	①入居促進策を策定し実施した。 ・チラシの刷新 ・県や東広島市、大学、及び関係機関等へ情報提供を依頼 ・地元経済誌への記事の掲載依頼 ②収支見直しを検討し、当分の間の修繕費用を確保した。
--	---

令和元年度の課題

○施設PRにより1室の新規入居及び要件緩和等により既入居企業が1室を追加契約したが、1社が退去した。 ○広報・営業活動の強化や制度の見直し、設備の充実等による入居率の向上を図る。 ○適切な施設保守・修繕を実施する。

(7) 広島県中小・ベンチャー企業成長支援事業 (県・自 6,093 千円)

中小・ベンチャー企業の経営・技術等に関する課題に対して次の支援を行った。

《実績》

【専門家の派遣】

当機構登録専門家の中から企業のニーズに応じて、企業に専門家を派遣。

派遣に要する費用（謝金及び旅費）の 2/3 を当機構が負担

【広島市域一次相談窓口】

ひろしま産業振興機構、広島市産業振興センター、広島商工会議所、広島県商工会連合会の連携により、一次相談窓口を開設（統一電話番号の設定）し、創業、資金繰り、販路開拓等について、利用者のニーズに応じた情報提供や経営支援を行った。

・対象エリア： 広島市域

・対応時間： 午前 9 時から午後 5 時まで（土日祝、年末年始除く。）

【広島県産業支援機関等連携推進会議】

県内産業支援機関等との連携のもとに、中小・ベンチャー企業への総合的な支援を実施するため、相互の連携の推進、支援機能強化に向けた検討等を行った。

開催日	概要	参加者
H31.3.11	<ul style="list-style-type: none"> ○平成 31 年度中小企業施策の概要説明 中国経済産業局産業部中小企業課長 近村 淳 氏 ○平成 31 年度広島県重点施策の概要説明 「広島県におけるイノベーション推進の取組」 広島県商工労働局医工連携・新産業推進部長 空田 賢治 氏 ○支援事例の紹介等 金型技術を活用した新発想のヘルスケア商品開発及び新事業展開 松本金型(株)販売事業部長 小田原 進 氏 ○情報提供 	31 機関 ／37 名

【ビジネスフェア等の展示会出展支援】

県内中小企業の商品・商材等を首都圏及び全国展開する上で必要な県内外の展示会・商談会への出展を支援し、販路拡大の機会や事業パートナー等との出会いの場を創出した。

また、首都圏展示会については、チーム型支援及び販売戦略塾ブラッシュアップ支援企業など、首都圏・全国展開の可能性が見込まれる中小企業を選定した。

《評価》

平成 30 年度目標

実績

<ul style="list-style-type: none"> ①広島市域一次相談窓口の周知方策等について検討・実施 ②産業支援機関等の連携促進 ③ビジネスフェア等展示会への出展支援の的確な実施 	<ul style="list-style-type: none"> ①関係団体による協議会を開催し、連携して周知に努めることとするとともに、事業者からの相談については、よろず支援拠点、産業支援機関等と連携し課題解決を推進した。 ②産業支援機関等連携推進会議を開催し、支援機能の強化を図った。 ③ビジネスフェア等の展示会へ出展し、販路拡大の機会を創出した。
---	---

令和元年度の課題

○広島市域一次相談窓口については、引き続き周知方法を検証し、相談件数アップを図る。

○共同出展者の交流や連携による相乗効果によって成果促進を行う。

(8) 中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業

中小企業庁が開設した中小企業・小規模事業者のための支援ポータルサイト「ミラサポ」を通して、次の支援を行った。

- ・国や公的支援機関の支援情報・支援施策を分かりやすく提供した。
- ・専門家を派遣し、経営課題を解決した。

《実績》

【専門家派遣実績：月別】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	対前 年比
派遣 件数	2 (0)	0 (2)	3 (6)	1 (3)	6 (7)	1 (3)	4 (2)	6 (4)	4 (1)	2 (3)	2 (5)	- (-)	31 (36)	70.4% (81.8%)

()内は、広島県よろず支援拠点が派遣した数値で外数

【連携促進会議】

地域の中小企業支援機関等が連携した地域プラットフォーム「ひろしま中小企業支援ネット」の代表機関として、連携促進会議の開催等、構成員の連携を推進した。

開催日	概要	参加者
H31.2.27	○平成31年度 経済産業省関連予算・税制について 中国経済産業局産業部中小企業課小規模企業係長 佐藤 健太郎 氏 ○情報提供	16 機関 ／23 名

《評価》

平成 30 年度目標

実績

- ①中小企業等のニーズに応じた適切な専門家を派遣
②支援機関等の連携を促すため、ひろしま中小企業支援ネット連携促進会議を開催

- ①中小企業のニーズに応じた適切な専門家を派遣し課題を解決した。
②ひろしま中小企業支援ネット連携促進会議を開催し 16 機関の連携を促した。

令和元年度の課題

- 専門家派遣では、前年度を下回る派遣件数で推移しているが、よろず支援拠点の機能拡充により、支援領域等利便性は向上した。
○本財団で主催する助成金制度、セミナー、よろず支援拠点等について、特に金融機関への周知により、制度利用を促進する。
○ひろしま中小企業支援ネット連携促進会議等を通じて、構成機関相互に情報交換し、ワンストップの基盤強化を推進する。

2 技術・経営力評価の支援

(19,653千円)

(1) 中小企業技術・経営力評価活用促進事業

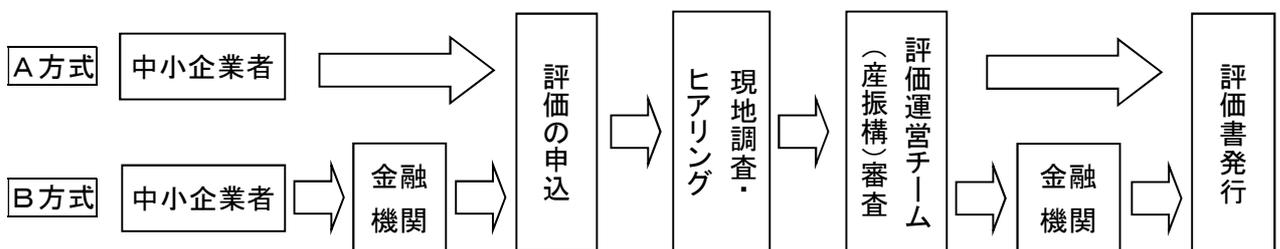
(県・自 19,421千円)

中小企業の技術力やノウハウ等の非財務情報をはじめ、成長性・経営力を評価した評価書を発行し、取引先への企業価値のアピールや円滑な資金調達、評価によって明らかになった経営課題の解決を支援した。

また、評価制度の申込の95%以上が金融機関経由であることを踏まえ、金融機関と強いパイプを持つ中国財務局と「事業性評価」をキーワードとした金融機関向けセミナーを共催し、金融機関との連携強化を図るとともに、評価制度の周知、利用促進を図った。

対 象	県内に事業所を有し、広島県信用保証協会の保証対象業種に属する中小企業者		
評 価 手 数 料 等	手数料の半額を当機構が助成 ○標準評価型:5万円 ○オーダーメイド型 10万円 評価書発行後、融資実行時に広島県信用保証協会の保証制度を利用した場合、広島県から保証料の0.1%を補助(1社当たり1会計年度20万円まで)		
評 価 項 目	ビジネスモデル・製品 (商品)・サービス	①新規性・独創性 ②優位性とその維持・継続	
	市場性・将来性	③市場規模・成長性 ④競合関係	
	実現性・収益性	⑤販売方法・販売価格 ⑥生産・サービス体制 ⑦売上高・利益計画 ⑧資金計画・資金調達力	
	経営力	⑨事業遂行能力 ⑩人材・組織体制	

【評価書発行までの流れ】



《実績》

【申込状況】

		件 数			摘 要
		H25~29	H30		
内 訳	製造業	92	79	13	はん用機械器具、機械器具製造業等
	卸・小売業	53	48	5	家具・インテリア小売業等
	サービス業	51	45	6	飲食業、学習塾等
	その他	56	49	7	建設業等
合 計		252	221	31	

【融資及び保証料補助実績〈累計〉】

	融資実績	保証料補助実績
件数	266	118
金額	約 84 億 4,802 万円	約 1,155 万円
1件当たり金額	約 3,176 万円	約 10 万円

【金融機関向けセミナー】

	開催日	開催地	対象	共催機関	参加者数
事業性評価研究会	H30.8.7 H30.11.6 H31.2.19	広島市	金融機関本部職員・若手渉外担当者等	中国財務局	109名

《評価》

平成30年度目標

実績

①評価制度利用件数:60件/年 ②評価制度の見直しと金融機関等との連携 ・アンケート調査に基づく改善の実施 ・事業性評価研究会の開催	①評価制度利用件数:31件/年 (うちオーダーメイド型:3件) ②評価制度の見直しと金融機関等との連携 ・パンフレット改定、申込書類の簡略化 ・事業性評価研究会(3回実施/年)
---	--

令和元年度の課題

- 申込は金融機関経由が95%以上を占めるものの、近年続く金利低下やプロパー融資増加の影響を受け、評価制度の優遇措置の活用機会が減少するとともに利用件数が伸び悩んだ。
- 一方で、制度開始以降、利用のなかったオーダーメイド型の申込も3件あり、紹介する先に対し、企業実態をより深く知りたいという、制度本来の趣旨に近づいてきたと期待される。
- 金融機関への周知活動を継続しつつ、関係機関への働きかけや財団内での連携強化により、企業へ直接周知する機会を増やす。
- また、評価後の課題解決に向けた、財団内の支援策に繋がる仕組み作りを検討する。

(2) 知的資産経営セミナーの開催

(県 232千円)

自社の優れた知的資産(技術、組織力、経営理念、ブランド、顧客とのネットワーク等)を把握し、活用することで業績向上に結びつける「知的資産経営」の概念を学び、知的資産の効率的な活用方法の習得を目的とした知的資産経営セミナーを、金融機関等と連携して開催した。

《実績》

開催形態	開催日	開催地	共催機関	参加者数/参加社数
啓発セミナー	H30.11.14	呉市	呉信用金庫	25名/25社
	H30.11.15	広島市	(株)日本政策金融公庫	16名/14社
	H30.11.16	福山市	(株)日本政策金融公庫	29名/20社

《評価》

平成30年度目標

実績

○セミナー開催回数:4回/年	○セミナー開催回数:3回/年
----------------	----------------

令和元年度の課題

- 金融機関に対し、知的資産経営の必要性や講演内容の魅力を再周知していくため、セミナー内容や講師、受講ターゲットなど複数プランを用意する提案型により、共催を促していく。

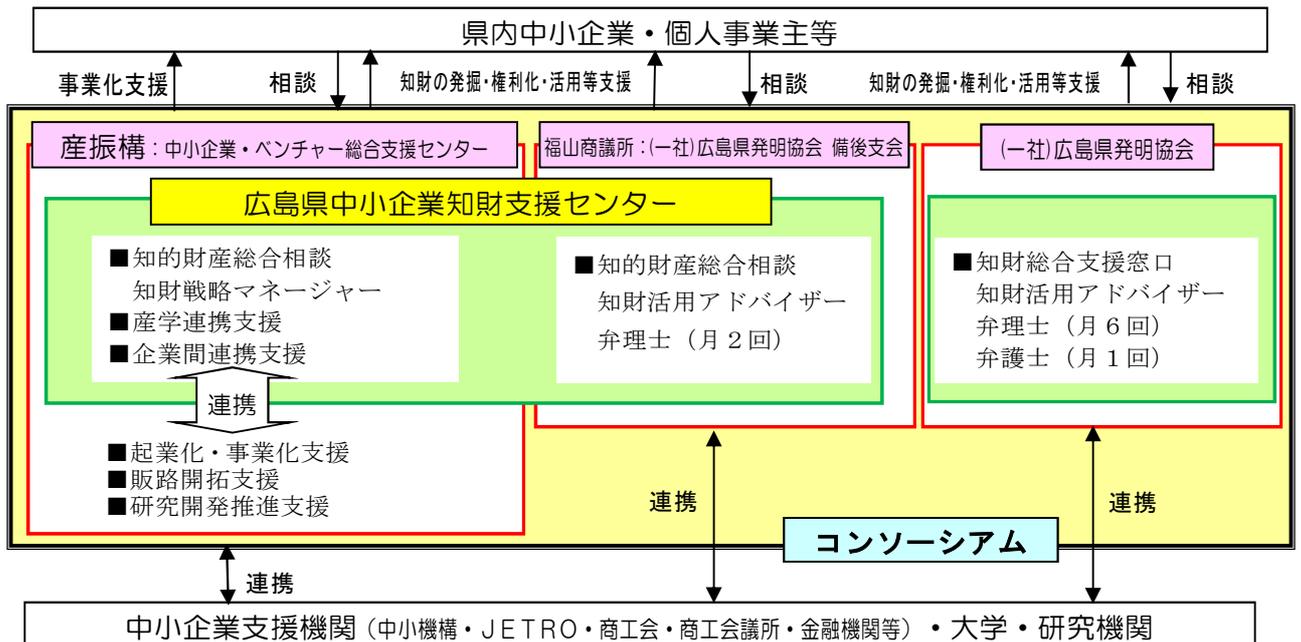
3 知財活用の支援（広島県中小企業知財支援センターの運営事業）（20,009 千円）

一般社団法人広島県発明協会とコンソーシアムを形成し、経済産業省及び県の事業の活用により、当機構に「広島県中小企業知財支援センター」を設置し、県内中小企業等に対する知財のワンストップサービスを実施している。

(1) 知財総合相談の実施（県 6,084 千円）

広島県中小企業知財支援センターでは、中小企業の知財の発掘・権利化・活用支援や中小企業の技術ニーズに対応した技術シーズの提供等により、中小企業等が企業経営の中で抱える知財に関する悩みを解決するとともに、当機構の他の支援事業等と連携することにより、知財を活用した事業化を促進した。

【事業スキーム】



《評価》

□平成 30 年度目標

企業面談件数(延べ数)	160 件
相談案件数(実数)	180 件
活用方法提案件数	20 件

□実績

227 件	達成率 141.9%
191 件	達成率 106.1%
194 件	達成率 970.0%

□令和元年度の課題

- 積極的な企業訪問を通じ、知財支援を実施した結果、企業面談、相談案件等、目標を上回ることができ、順調に推移した。
- 引き続き、積極的な企業訪問による知財支援を実施するとともに、広島県発明協会や関係機関と連携したセミナーを開催し、県内中小企業の知財意識の向上を図る。

(2) 外国出願支援（国 13,924 千円）

事業戦略としての外国への特許出願等を促進するため、国の補助事業を活用して県内中小企業の外国特許出願等に要する経費（外国特許庁への出願料、国内・現地代理人費用、翻訳費用等）の一部を助成した。

平成 30 年度は、5 月から 6 月にかけて 1 次公募、8 月～9 月にかけて 2 次公募、10 月に第 3 次公募を行い、20 社（33 件）の採択を行った。

【事業スキーム】



出願業務の依頼

《実績》

【採択状況】

企業名(件数)	社・件	業種	所在地	種別
(株)モルテン(5) (うち1件は事業中止)	7社・ 12件 (うち1件 は中止)	ゴム製品製造業	広島市西区	特許
弓場商事(株) (1)		医療・健康用品製造・販売業	三原市	
(株)テクノクラーツ(2)		機械設計業	広島市南区	
(株)アドテックプラズマテクノロジー(1)		生産用機械器具製造業	福山市	
(株)壮健(1)		医薬品・化粧品小売業	広島市中区	
(株)広島メタル&マシナリー(1)		鋳鋼製造業	呉市	
(株)三英技研(1)		ソフトウェア業	広島市中区	
アトム(株)	1社・ 1件	ゴム製品製造業	竹原市	意匠
(株)天寶一(1)	12社・ 20件 (うち1件 は中止)	清酒製造業	福山市	商標
(株)ファッションール(3)		美容業	福山市	
(株)川上製作所(2)		その他一般機械製造業	福山市	
宇治園製茶(株) (1)		製茶・卸小売業	尾道市	
(株)竹宝堂(2)		筆製造業	安芸郡熊野町	
(株)フェニックスパイオ(3)		医薬品開発受託試験サービス業	東広島市	
(株)ヤマサキ(1)		化粧品等製造業	広島市中区	
ななもフーズ(株)(1)		飲食サービス業	広島市中区	
ケーエス商会株式会社(1)		水産物の養殖、輸出入、国内外販売	尾道市	
(株)アクセ(2) (うち1件は事業中止)		小売業	尾道市	
マルト製菓(株)(1)		菓子製造卸売業	福山市	
(株)H&J(2)		乳酸菌製品等の開発・卸売業	廿日市市	

(採択金額) 13,922千円

《評価》

平成30年度目標

実績

中小企業の応募機会の拡充のため、複数回の公募を実施する。

〇年3回の公募を実施した。

令和元年度の課題

〇平成30年度の募集期間終了後も問い合わせ等があり、応募したいとの意向が寄せられているところである。近年の採択件数も、県内企業への当該制度の普及・浸透が図られてきたことを受けて、通増の方向にあることから、継続して複数回の公募を実施する必要がある。

〇引き続き、制度の周知及び活用企業の発掘に、財団内及び他支援機関と連携して取り組む。

産学官連携による協同体制を構築して、地元企業のもつ独自技術の高度化につながる共同開発への支援や特許流通等の経営資源の双方向での活用促進など、新産業の創出及び既存産業の高度化を図るための幅広い支援活動を推進する。

1 研究開発・クラスター形成の支援 (398, 145 千円)

県内ものづくり中小企業の技術力、商品力の向上強化、ビジネス拡大を狙い、新技術・新商品の芽の創成から事業化までの研究開発活動を、引き続き、研究開発支援センター、カーテクノロジー革新センター及びひろしま医工連携推進センターの3部門で分野別に支援する。

特に、国・県補助（委託）事業においては、産学官連携による共同研究体を補助（委託）対象とした産学官連携研究開発推進制度に応募し、採択となった事業について事業管理者として実用化・事業化に向けて積極的に事業推進を図る。

■ものづくり全般の分野

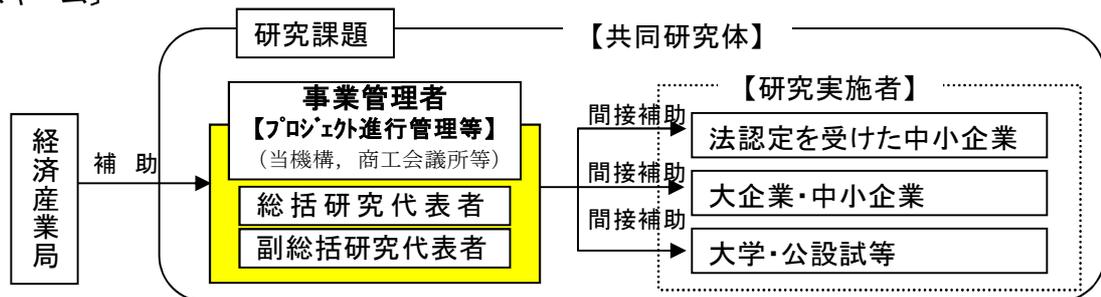
(1) 競争的資金獲得及び研究開発支援事業 (国 136, 645 千円)

国などが公募する競争的資金の獲得を通じて、中小企業の研究開発を加速度的に促進するため、制度のPR、応募段階での採択に向けた支援及び採択案件の推進管理を行った。

①戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン） (国 136, 645 千円)

中小企業のものづくり基盤技術に資する革新的、かつ、ハイリスクな研究開発等を促進することを目的とし、高度の「ものづくり基盤技術」を持つ中小企業と最終製品を提供する大企業等との密接な連携による、研究開発を支援する。当機構は、事業管理者として研究全体の統括、プロジェクトの管理運営を行った。

〔制度スキーム〕



《実績》

【平成 28 年度新規採択研究開発テーマ】

テーマ名	研究開発内容	研究実施機関	研究期間
航空機用繊維強化樹脂材料の高効率曲面仕上げを可能とするフレキシブルメタルシートの実用化開発	<p>航空機用繊維強化樹脂曲面部材のヤスリを用いた仕上げ加工では、多大な労力と時間を要しており、切れ味がよく、耐久性と柔軟性を併せ持つ新規な加工ツールが求められている。</p> <p>本研究開発は、板厚 0.5mm の金属シートに精密切削・研磨仕上げを可能とする独自考案の微細な目立てを施し、さらに表面にダイヤモンド等の砥粒をCNT複合メッキにより固着させ、耐久性を高めたフレキシブルメタルシートの実用化をもって川下ニーズに応える。</p>	<p>(株)オリエント 産業技術総合研究所 広島県立総合技術研究所</p>	3 年間 ～2019.3
二酸化炭素排出削減に貢献する超小型・軽量、高効率な電動ウォーターポンプの開発	<p>自動車の二酸化炭素排出量削減の対応として、電動車両の増加と共に主流となりつつある過給ダウンサイジングエンジンに、水冷インタークーラ冷却用の電動ウォーターポンプが必須となる。</p> <p>先行研究で他社品に対して圧倒的に小型、軽量な製品の見通しが得られたため、実用化、事業化に向けた研究開発を行う。</p>	<p>(株)久保田鐵工所 広島県立総合技術研究所 (株)A&M</p>	3 年間 ～2019.3

【平成 29 年度新規採択研究開発テーマ】

大型で積層構成自由度の高い CFRTP 一方向連続繊維積層板の量産技術開発	<p>現在燃費改善のため車体の軽量化として鉄鋼に代わるマルチマテリアル化が進んでいる。その中でもCFRTP(炭素繊維強化熱可塑性樹脂)は、軽さだけでなく強度や弾性においても鉄鋼より優れており、次世代自動車材料として注目されている。</p> <p>CFRTPの弱点である製造コスト削減に向けて、自在な配向で積層・一体化した大型(1x1m以上)で品質(樹脂含浸性、繊維直線性)に優れたCFRTP一方向連続繊維積層板の量産技術と、その一方向連続繊維積層板に適したプレス成形技術の開発を行う。</p>	<p>北川精機(株) 広島県立総合技術研究所 同志社大学</p>	3 年間 ～2020.3
---------------------------------------	--	--	-----------------

【平成 30 年度新規採択研究開発テーマ】

患者及び執刀術者の負担軽減のための低侵襲治療手術器具等を実現する樹脂金属接合技術に応用した高機能異種金属接合技術の開発	<p>多くの産業分野にて軽量化ニーズは高く、医療機器分野においても治療・手術施術者の負担軽減を目的に手術器具の軽量化ニーズが高まっている。</p> <p>これまでに自動車分野で確立した樹脂と金属の接合技術を応用し、異種金属を接合することで、医療分野のニーズに応え、これまで解決が困難であった課題に対する新たな高機能異種金属接合技術工法を研究開発する。</p>	<p>(株)ヒロテック (株)シャルマン 大阪大学</p>	3 年間 ～2022.3
脂質代謝研究素材として高脂質代謝機能と高利便性を備えるヒト肝細胞の開発	<p>生活習慣病は現代社会の大きな問題であり、その予防と治療を目的として、脂質を標的とする機能性食品や創薬などの研究開発が行われている。その研究現場では、高い脂質代謝機能と高い利便性を備えた研究素材に対して大きなニーズがある。</p> <p>本研究開発では、脂質の研究領域に求められているニーズを備える新しい研究用ヒト肝細胞を開発し、脂質研究を加速させ、生活習慣病による健康や医療費の問題解決に貢献することを目指す。</p>	<p>(株)フェニックスバイオ 秋田県総合食品研究センター</p>	2 年間 ～2021.3

②平成 30 年度公募の競争的資金獲得及び研究開発支援

国（経済産業省、農林水産省、他）、県、市町、独立行政法人（JST/NEDO等）等の、行政等が公募する、新技術新製品の研究開発・生産効率の向上・技術技能を担う人材育成などを助成する競争的資金制度を、研究開発及び人材育成に関心の高い県内中小企業に幅広くPRするとともに、応募段階での採択に向けた支援及び採択案件の推進管理等を行った。

《評価》

□平成 30 年度目標

□実績

<p>①継続 3 件の確実な進捗 ～推進会議3回実施(6月、10月、2月)</p> <p>②新規サポイン提案 3 件以上 ～新規サポイン採択 2 件以上</p> <p>③新規案件の確実な進捗 ～推進会議 2 回実施(9月、2月)</p> <p>④次年度提案 3 件以上にに向けた仕込み ～提案見通し 5 件以上</p>	<p>①継続案件 3 件: 推進会議 3 回実施済</p> <p>②新規サポイン提案 2 件、採択 2 件</p> <p>③新規案件 2 件: 推進会議 2 回実施済</p> <p>④次年度提案案件掘り起こし 5 件達成</p>
---	--

□令和元年度の課題

○サポインの事業化率が低調であることから、企画時点で製品化のシナリオ精度を高める他サポイン研究期間終了後のフォローアップにより、事業化に近づける支援を行う必要がある。

(2) ひろしまデジタルイノベーションセンター運営事業

(国・自 109,977 千円)

地域産業の競争力を高める基盤を強化するため、高性能計算機能の利用環境の提供とデジタル技術に係る人材育成を実施する拠点として、「ひろしま産学共同研究拠点」(東広島市)内にクラウド型スーパーコンピュータや高性能ワークステーション及びCAEソフトウェアを整備した「ひろしまデジタルイノベーションセンター」を運営した。

《評価》

□平成 30 年度目標

□実績

<p>① 登録プロジェクト (Prj) 40Prj 以上</p> <p>② 端末ルーム稼働率 60%以上</p> <p>③ 利用収入 2,930 万円以上 (支出予算 7,506 万円 (償却費除く))</p>	<p>① 登録 Prj 31Prj</p> <p>② 端末ルーム稼働率 66%</p> <p>③ 利用収入 4,114 万円 (支出 5,451 万円 (償却費除く))</p>
---	--

□令和元年度の課題

(課題)

○自動車を中心に利用企業は増加してきたが、他の業種への広がりが不十分

○稼働率は目標を達成したが、リモート利用など要望への対応、利用を始めやすい料金設定など、サービス品質改善の継続が必要

○低料金サービスが多い、スパコン利用が少ない等によって収支は目標を未達。収支改善が課題

(取組)

○新たな利用企業・団体を増やし、地域に CAE の取組を浸透させる。

- ・デジタル技術の価値を業界団体等を通じ経営者層へ理解いただく働きかけを強化
- ・研修や成功事例の紹介等による利用メリットを効果的に周知

○引き続きサービス向上策の強化を図る。

- ・従来の「年間登録」に加え、より気軽に利用を始めるための「一般登録」制度を整備
- ・利用しやすい環境を整備(リモート利用ワークステーション増設、低料金継続等)

○収入増の施策に加え、経費削減の施策の強化を図る。

- ・スパコン・ソフト・保守等の関係者との協議
- ・スパコンサービスのあるべき姿の見直し等

(3) コーディネート活動の推進

(県 22,645 千円)

研究開発支援センターにコーディネーターを配置し、企業ニーズの把握、研究課題の抽出、研究シーズとのマッチング、産学官連携の推進、競争的資金の獲得支援等を行った。

(4) 技術交流の推進

(自 259 千円)

県内における新規産業の持続的出現を図るため、技術交流の促進を図ることにより、新規事業の芽を発掘し新規産業として育成を行う事業を実施した。

①企業ニーズ技術シーズマッチング事業 (マッチングフォーラム)

(自 259 千円)

ものづくり企業の技術課題・開発課題の解決及び新たなイノベーションの創出を図るため、課題を抱えている企業とともに大学などの研究室を訪問し、研究内容の説明を受けるとともに、事業化に向けた意見交換等を実施して、共同研究に結びつけた。

回	実施日	訪問研究室	参加者
1	H30. 9. 14	近畿大学工学部 情報学科マルチメディアシステム研究室 山元 翔 講師・工学博士 ○概念マップによる知識の見える化と、AIを用いた知識の伝達活動の高度化	20名
2	H30. 9. 27	広島市立大学大学院 情報科学研究科 医用情報科学専攻 釘宮 章光 准教授・工学博士 ○ヘルスケア分野への応用を目指したアミノ酸計測装置の開発	5名
3	H30.10. 23	福山大学工学部 情報工学科 山之上 卓 教授・工学博士 ○IoTの基礎から瞬間移動まで ～仕事の現場から欲しいデータを吸い上げ活用しませんか?～	17名
4	H31. 2. 14	呉工業高等専門学校 電気情報工学分野 横沼 実雄 准教授・工学博士 ○エコロケーション(反響定位)ってご存知ですか? ～視覚障害者の反響定位修得支援を目的とした超音波スピーカ応用による歩行支援措置の研究～	17名

②共同研究支援事業

○ひろしまアディティブマニュファクチャリング (AM) 研究会

会長 近畿大学工学部 京極教授

(近畿大学、広島大学、呉高専、広島県立総合技術研究所、東広島市、民間企業で構成)

デジタル技術の活用によるモノづくりの高度化や生産性向上を実現していくことを目的に、3

Dプリンター等に関する製品や製造方法を中心に研究会を開催し最新情報を共有化した。

《実績》

回数	開催日	内 容
1回	H30.7.31	「構造最適化の基礎」 広島大学大学院 工学研究科 准教授 竹澤 晃弘 「3Dプリンティング製品のためのトポロジー最適化活用方法」 アルテアエンジニアリング(株) Hyperworks 技術本部 本部長 阿部 大生 「高い衝突安全と軽量化を実現した、最適化手法による 超軽量・高強度フレーム断面技術の開発」 マツダ(株) 技術研究所 主幹研究員 本田 正徳 「デジタルモノづくりのメリットと移行のステップとは」 (公財)ひろしま産業振興機構 HDIC所長 安藤 誠一
2回	H30.11.6	「金属 Additive Manufacturing に関する世界動向と GE アディティブの取組」 GE アディティブ 日本統括責任者 トーマス・パン 氏 「航空宇宙分野における AM 技術の動向と適用事例」 (株)IHI 基盤技術研究所 材料研究部 佐藤 彰洋 氏 「自動車分野における AM 技術の動向と適用事例」 三菱商事(株) 産業機械事業本部 産業設備事業部 産業設備チーム 渡邊 洋 氏 「金属 AM へのシミュレーション技術の適用」 サイバネットシステム(株) CAE 事業本部 メカニカル CAE 事業部 技術部 スペシャリスト 喜多 雅子 氏
3回	H31.2.27	「三次元異方性カスタマイズ化設計・生産」 大阪大学大学院 工学研究科 マテリアル生産科学専攻 教授 中野 貴由 氏 「DesktopMetal 社(米国)金属 3D プリンタの最新技術について」 アルテック(株) 第2 産業機械事業部 岩本 晃輔 氏 「Additive Manufacturing の医療の応用」 広島大学大学院 医歯薬保健学研究所 医療システム工学分野 教授 村山 長 氏

《評価》

平成 30 年度目標

実績

<p>○次の活動により、企業ニーズの把握、研究課題の抽出、研究シーズとのマッチングを行い、中小企業の技術力の向上、競争力強化の支援を行う。</p> <p>①産官学マッチング件数 7 件以上</p> <p>②助成金マッチング件数 5 件以上</p> <p>③マッチングフォーラム開催 5 回以上 (9 月,10 月,11 月,2 月)</p> <p>④研究会(三次元造形)開催 33回以上 (7 月,11 月,2 月)</p>	<p>①8 件(主に企業と研究室を繋ぎ、アドバイス等の場の提供を行った)</p> <p>②5 件(サポイン 2 件、チャレンジ採択支援、推進支援 3 件)</p> <p>③年間開催は4回であり、目標を 1 件未達</p> <p>④計画通り 3 回の研究会セミナーを開催できた。(300 名以上の参加あり、満足度・自事業への反映イメージの醸成度ともに 90%近くを達成)</p>
--	--

令和元年度の課題

<p>○コーディネート活動においてマッチング件数は目標値に達するも、本来の企業ニーズの掘り起こしに苦慮しているケースもある。</p> <p>○マッチングフォーラム開催により直ちにマッチングするケースは稀であり、フォローアップ活動の充実によりフォローしていく必要がある。</p>
--

■ 自動車分野

(5) 自動車関連産業クラスター支援事業 (県・団体・自 40,679 千円)

本県の基幹産業である自動車産業の持続的な発展のため、県と連携した戦略的な支援体制を整備し、自動車メーカーの技術ニーズを対象に県内での事業化が期待される研究開発や人材育成を引き続き支援した。

①カーテクノロジー革新センターの運営

企業ニーズの把握、研究課題の抽出、企業連携の推進、競争的資金の獲得支援等を行うコーディネーターを配置するとともに、「カーテクノロジー革新研究会」、新技術トライアル・ラボやベンチマーキングセンターを運営し、次の活動を行うことにより、県内自動車部品サプライヤーの研究開発活動をさらに発展させ、総合的に支援した。

なお、ひろしま医工連携・先進医療イノベーション拠点で行った「人間医工学を応用した自動車研究開発」は、平成 27 年度事業終了時の評価が「S」であることから、3 年間継続実施が可能となったため、取組をさらに推進する必要があるとあり、別途、専任の職員を配置した。

【コーディネート活動による研究開発の支援】

自動車メーカーと県内自動車部品サプライヤーそれぞれのニーズを抽出するとともに、それらに対応できるシーズの発掘を行った。これをもとに、マッチングを行い、熟度に応じて企業間の具体的な連携や共同研究などを推進した。

【ベンチマーキング活動】

自動車部品サプライヤー等における部品開発の基礎となる他社技術の動向把握や応用活用等を支援するため、県が整備する共同利用型ベンチマーキングセンターを運営し、調査企画や基礎研究活動に関連する車両を対象にベンチマーキング活動を実施した。

【情報・成果発信活動】

センターの活動を通じて得た成果や情報を発信した。

- ・技術ニーズ/シーズ発信会
- ・最新業界動向に係る講演会 など

②ひろしま自動車産学連携推進会議の経理事務の受託

マツダ、広島大学、広島県、中国経済産業局、広島市を常任団体として平成 28 年 6 月に設立された団体の経理事務を受託した。

《評価》

□平成 30 年度目標

□実績

<p>自動車部品サプライヤーの研究開発、コスト競争力強化を支援する</p> <p>①ベンチマーキング活動活動</p> <p>②情報・成果発信活動</p> <p>最新業界動向講演会開催 1 回</p>	<p>①ベンチマーキング活動活動</p> <p>Volkswagen が全世界市場に投入した新プラットフォームの採用による高級 SUV の技術等の調査。</p> <p>参加企業数: 分解調査 63 社</p> <p>②情報・成果発信活動</p> <p>最新業界動向講演会開催 1 回</p> <p>(ひろ自連と連携し、開催)</p>
---	--

□令和元年度の課題

- ①KPI 目標「持ち帰り率」:37 社/36%@H31(←33 社/32%@H30)
 ②運営課題:性能ベンチマークと構造ベンチマークの日程バランス取り
 ③場所課題:参加者増により、手狭になる西部工業センターのスペース⇒国際大学に集約
 ※参考情報:協議会企業数:103 社@H30←96 社@H29、
 総参加社数 :63 社@H30←51 社@H29
 ④コンプライアンス課題:Reporting プロセスの再考(個社レポートの共有化活用)

(6) AI/IoT 活用基盤構築事業

(県 15,174 千円)

自動車産業を中心としたものづくり産業を取り巻く環境変化を踏まえたサプライチェーンの最適化を推進するため、外部機関を活用して AI/IoT に係る企画構想を立案し、企業の実証実験に向けたプラットフォームを構築した。

《評価》

□平成 30 年度目標

□実績

自動車部品サプライヤーが AI/IoT を活用できる基盤を構築する

- ①AI/IoT 導入初級教育カリキュラム編成
 ②AI/IoT 導入企画立案 2 件
 ③機運醸成に向けた講演会 1 回
 ④AI/IoT 導入実践教育カリキュラム編成

①AI/IoT 導入初級教育カリキュラム編成
 広島市立大学において、e-Learning カリキュラムを開発

- ②AI/IoT 導入企画立案 2 件
 公募により提案のあった東洋シート・NSウエストにおいて実証実験を実施
 ③機運醸成に向けた講演会 1 回
 「スマートファクトリーへの第一歩」開催(H31.3.18)
 スタンフォード大学招へいセミナー開催(H30.11.14~16)
 ④AI/IoT 導入実践教育カリキュラム編成
 マツダ等と検討を継続

□令和元年度の課題

- 平成 30 年度に引き続き、以下の活動を継続する。
 ・ITベンダーによる事例紹介・最新技術のセミナー(勉強会)開催。(3 回)
 ・工場見学により実態を把握し、改善へ向けた検討会を開催。(3 回)
 ・サプライヤーが ITベンダーを活用(発注)した事例。(2 件)

(7) 新技術トライアル・ラボ運営事業

(県 14,609 千円)

研究開発リソースの大部分を量産対応に投入せざるを得ない県内自動車部品サプライヤーの先行開発を支援するため、広島県立総合技術研究所西部工業技術センター内に設立した「新技術トライアル・ラボ」を運営した。

同ラボには、専従研究員を 2 名配置し、カーテクノロジー革新センターのコーディネーターと連携して、自動車メーカーの技術ニーズを中心にした技術構想(研究計画)の企画立案や予備的な実験等を行い、新しい技術の芽を生み出す役割を担うほか、地場企業の先行研究の活性化や人材育成などにもつなげた。

《評価》

□平成 30 年度目標

□実績

- ①NVH／熱マネ／軽量化／質感改善の4領域にフォーカスした 10 研究テーマを設定。
- ②2つのテーマでひろ自連と共創活動。

- ①トライアル・ラボ活動 10 テーマ
NVH4 テーマ、熱マネ 1 テーマ、
軽量化 5 テーマ、質感改善 1 テーマ
延べ 26 社参加
- ②ひろ自連共創活動 3 テーマ
NVH2 テーマ、軽量化 1 テーマ

□令和元年度の課題

- ①地域の研究開発力:KPI「領域別研究開発力 Step Up」(Roadmap①⇒②⇒③)
- ②論文発表、モデル化推進:継続的な価値ある論文発表～モデル化推進
- ③協調領域の共創活動:いくつかのモジュールで、複数社との「改善構造」の研究推進
- ④マツダとのネットワーク強化:マツダを巻き込んだ新たな構造研究
- ⑤経産省「サプライヤー応援隊」対応:経産省予算の有効活用
- ⑥R2年度の予算化:経産省予算と県直予算のバランス適正化

■ 医療・福祉・健康分野

本県には、自動車、一般機械等の製造業が集積し、幅広い分野で展開できる高度な技術を有するオンリーワン・ナンバーワン企業が多く、また、国内有数の医療機関・医療系研究科や工学系研究科などがあり、特色ある研究活動が行われている。

こうした強みを最大限に活用して、県では医療関連産業クラスター形成事業（H23～H32）として、成長が見込まれ、付加価値の高い医療・福祉分野での産業育成を図ることとし、当機構においても医療・福祉分野の事業に取り組む中小企業の支援を行っている。

(8) 医療関連産業クラスター形成事業 (県・自 38,006 千円)

平成 23 年 11 月に設立した「ひろしま医療関連産業研究会」（会員数 450（うち企業 403、大学等 12、支援機関他 35）H31.3 末現在）を運営し、医療・福祉関連分野における県内企業の新たな研究開発や事業展開を目指した取組を支援している。

【目標と課題】

○広島県のアクションプラン（平成 24 年 7 月策定）では、平成 32 年度に、医療機器等生産額 1,000 億円、医療機器等製造企業 100 社を目標としている。

○医療機器等の生産額については、平成 29 年度で 245 億円であり、目標額の 470 億円を下回っている。これは、昨年度と同様、県内企業の生産拡大実績額については目標額を上回っているが、県外からの企業誘致が進んでいないため達成できていないものである。

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
生産額実績 (億円)	90	95	117	125	135	160	200	245
企業数実績 (社)	30	33	34	37	44	50	54	59

※県内の医療機器等生産額及び医療機器の製造・製販企業数の推移（平成 30 年 3 月末現在）

○また、医療・福祉関連分野への事業参入に当たって、事業組成、研究開発、上市までに年数がかかり、特に、事業組成時に専門的な支援人材をうまく活用できていない。

【事業概要】

○企業誘致につなげる取組としては、展示会、学会、商談会等を活用したビジネスマッチングの支援に重点的に取組み、県内企業による生産受託、部品受注などに向けた県外大手医療機器メーカー等との取引拡大やネットワークづくりを促進していくこととする。

○県内企業の生産額の拡大などに向けては、会員企業のニーズに細かく対応できる支援体制を確保し、引き続き、個別プロジェクトの事業化への支援の強化や企業、医療関係者等でのワークショップなどによる有望な新規テーマの掘り起しに取り組んでいくこととする。

①受注拡大、販路拡大に向けた支援

医療機器・介護福祉機器の受注拡大、販路拡大に向け、県外大手医療機器メーカーや商社とのビジネスマッチングやネットワークづくりのため、全国展示会への共同出展や補助金による展示会、学会への出展支援、商談会への参加支援等を実施した。

《実績》

【展示会共同出展：マッチング成立件数 158件】

展示会名	開催日	開催場所	出展企業
Medtec Japan 2018	H30.4.18 ～4.20	東京ビッグ サイト	【8社】(株)石井表記、(株)イノテック、(株)織田鐵 工所、(株)ギケン、(株)シギヤ精機製作所、 (株)システムフレンド、トーヨーエイテック(株)、 戸田工業(株)
日本皮膚科学会 【新規】	H30.5.31 ～6.3	NTTクレド ホール	【10社】(株)ジェイ・エム・エス、(株)呉英製作所、 (有)ハッピーおがわ、(株)CampusMedico (株)コーポレーションパールスター、(株)システ ムフレンド、(株)ジェイ・シー・ティ、(株)ビーライ ズ、(株)ユニタック、(株)モルテン
医師主導により医療機器 開発セミナー展示【新規】	H30.10.13	TKP ガーデン シティ広島駅 前ホール	【4社】(株)ジェイ・エム・エス、(株)エムネス、 (株)ユニタック、(株)システムフレンド ※広島初開催
MT-japan マッチングサイト セミナー展示会【新規】	H30.11.20	東京主婦会 館プラザエフ	【5社】(株)石井表記、(株)キャステム、(株)サン エス、(株)シティプラスチック、 ミヨシ電子(株)
介護の日フェスタ In 広島	H30.11.25	グリーンアリ ーナ	【7社】弓場商事(株)、(株)ビーライズ、(株)ユ ニコーン、(株)コーポレーションパールスタ ー、(株)システムフレンド、松本金型(株)、マル カ(株)
MEDIX大阪 (広島市連携)	H31.2.20～22	インテックス 大阪	【4社】(株)橋川製作所、(株)高村興業所、 (株)シティプラスチック、(株)広洋電子
Medtec Japan 2019	H31.3.18～20	東京ビックサ イト	【8社】(株)石井表記、(株)イノテック、(株)ギケ ン、(株)シギヤ精機製作所、(株)システムフレ ンド、トーヨーエイテック(株)、(株)ユニタック、 (株)サンエス

【個別マッチング支援（主なもの）：マッチング成立件数 9件】

- 医療介護福祉機器商社（東京）商談会（6月）
- 医療介護福祉機器商社（大阪）商談会（8月）
- 関東経済産業局ものづくり商談会（11月）
- 中国経済産業局 医療機器商社（岡山）商談会（11月）
- 中国経済産業局 医療機器メーカー（広島）ニーズマッチング
- 中国経済産業局 病院（岡山）シーズ発信会
- 大学病院（岡山）個別マッチング

【医療機器等販路拡大支援事業補助金：マッチング成立件数14件】

- 展示会等経費補助（一次公募）
 - 〈補助率〉 1/2
 - 〈補助限度額〉 300千円
 - 〈補助金交付企業〉 5社
 - 〈補助金額合計〉 840千円

企業名	内容
(株)GLAB	HOSPEX Japan 2018 第5回日本スポーツ理学療法学会学術大会
RTQM システム(株)	日本放射線腫瘍学会第31回学術大会
(株)ユニタック	第48回日本慢性痛学会
弓場商事(株)	リハビリテーション・ケア合同研究大会 第28回 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会
三興化学工業(株)	第36回日本手術看護学会九州地区大会 【台風により学会中止】

○展示会等経費補助（二次公募）

〈補助率〉1/2 〈補助限度額〉 300千円
 〈補助金交付企業〉3社 〈補助金額合計〉786千円

(株)古川製作所	メディケアフーズ展
(株)システムフレンド	第49回日本人工関節学会
(株)シギヤ精機製作所	APAO2019(ASIA-PACIFIC ACADEMY OF OPHTHALMOLOGY)

○試作品製作、評価・試験、技術相談に関する経費補助》

〈補助率〉1/2 〈補助限度額〉 582千円
 〈補助金交付企業〉2社 〈補助金額合計〉582千円

RTQM システム(株)	試作品製作
(株)ギケン	試作品製作

②県内企業による付加価値の高い製品開発の支援

付加価値の高い製品開発の支援を行うため、新規事業創出や課題解決ワークショップの開催、開発補助金・外部資金の活用、実証フィールドの活用、専門家派遣による助言指導などの支援を実施した。

【ワークショップ：アンケートの結果、とても良かった65%・良かった29%と好評】

	開催日・場所	参加者
品質管理体制についての基礎講座	H30. 8. 7 県庁会議室	参加企業 6社 参加総数 21名
医工連携におけるインプラントの動向セミナー	H30. 8.30 サテライトキャンパス	参加企業 6社 参加総数 19名
「仮想カタログ(活用編)」ワークショップ	H30. 9.12 県庁会議室	参加企業 7社 参加総数 19名
医療機器開発市場で中小モノづくり企業が今求められている役割	H30.11.16 サテライトキャンパス	参加企業 5社 参加総数 8名
デザイン思考を用いて「ニーズを創出する」体験ワークショップ	H30.12. 7 広島県情報プラザ	参加企業 10社 参加総数 36名
「仮想カタログ(実践編)」ワークショップ	H31. 1.17 サテライトキャンパス	参加企業 4社 参加総数 15名

【ひろしま医療関連産業創出支援事業費補助金採択状況】

〈連携枠〉 補助率2/3 補助限度額 6,000千円

〈一般枠〉 補助率1/2 補助限度額 3,000千円

・申請6件 / 採択5件 15,500千円

企業名	枠区分	内 容
(株)ユニタック (広島大学)	連携	国産初となる下肢静脈瘤治療用レーザー装置の市場投入
(株)ジェイ・エム・エス (佐賀大学、大下産業(株))	連携	透析シャント形成時に用いるワンタッチで血管に脱着可能な低侵襲カニューレの開発
(株)コーポレーションパールスター (広島大学)	連携	自社医療用繊維製品のリンパ浮腫治療等への新たな展開
(株)モルテン	一般	在宅要介護者をターゲットとした高機能な移動機器・移乗用具の開発
(株)キャストム	一般	医療機器製造に関する国際規格認証の取得による医療分野の受注拡大

【平成30年度上市状況】

企業名	製品名	特徴
(株)GLAB	リアライン ・コア SI	股関節や背骨・肩などの動きを改善するための運動器具
(株)GLAB	リアライン・ レッグプレス	膝の回旋筋を鍛え、膝関節のねじれ・歪みを整えるトレーニング器具
(株)GLAB	リアライン・ チェア	長時間、椅子に座ることでもたらす弊害を取り除き、快適なオフィスライフ等をサポート
(株)ミルテル	ミアテスト®プラチ ナ	血液中の小分子 RNA の解析を行うことなどにより、がんやアルツハイマーなどの検査受託を行うシステム
(株)モルテン	リリーフ	独自の3点支持構造により、しっかりと体を支える杖
(株)システムフレンド	鑑(あきら)Care	デイサービスの運動機能訓練をサポートする測定器(動作・姿勢計測を必要とする様々な分野で活用可能)
(株)ジェイ・シー・ティ	消息子	心臓血管外科手術器械(エア抜き)
マルカ(株)	ONESELF	片側麻痺の方が、一人で着られるシャツ(マジックテープ、第3ボタン部分着色、アームホール着色、胸ポケット2カ所など)
(株)プローパホールディングス	ウォーキング ポイントプログラム	高齢者向けフィットネスクラブと連携し、歩いた歩数を地域限定で利用できるポイントに交換できるプログラム

《評価》

□平成30年度目標

□実績

<p>① 医療機器・介護福祉機器の受注拡大、販路拡大に向けた展示会出展、商談会への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示会・商談会等支援企業数 90社 ・マッチング成立件数 175件 <p>② 開発支援(補助金、実証フィールド等活用による製品化、ワークショップ開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新製品上市件数 8件 ・ワークショップ開催件数 8件 	<p>①受注拡大、販路拡大に向けた展示会出展、商談会への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示会・商談会等支援企業数 76社 ・マッチング成立件数 181件 <p>②開発支援(補助金、実証フィールド等活用による製品化、ワークショップ開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新製品上市件数 9件 ・ワークショップ開催件数 6件
--	--

□令和元年度の課題

◇実績と要因

①受注拡大、販路拡大に向けた展示会出展、商談会への支援

- ・ 新規の学会参加での実績増などによりマッチング件数は目標を超える見込み。
- ・ 一方、新規の展示会のうち、セミナーとの併設での展示会においては、出展企業の技術、製品のPR等にとどまり、マッチング件数が少なかったものがあった。

② 開発支援

- ・ 上市件数は、補助金、実証フィールドの活用などにより、目標を上回った。
- ・ 一方、上市には年数を要していることや、新規事業創出などの課題解決ワークショップについても企画等に日時を要し計画的に開催できなかったため開催回数は目標を下回った。

◇今後の取組方針

①受注拡大等の支援では、効果的な展示会等への出展やマッチング件数の増加を目指すため、

- ・ 会員企業の優れた製品・技術情報の積極的な事前PR活動の実施
- ・ 展示会等の企画や来場者分析等により、出展効果の高い展示会等への出展支援に取り組むとともに、マッチング後の成約状況までのフォローアップを実施

②開発支援では、製品の早期上市や事業化を実現するため、

- ・ 事業の早期段階での市場や知財調査、事業化の体制等についての的確な助言指導の実施
- ・ 新規事業等に取り組む企業の課題解消に向けた専門家の活用や計画的なワークショップの開催等の支援を行うこととする。

(9)地域イノベーション戦略支援プログラム事業

(国 15,769千円)

地域イノベーション戦略支援プログラム(文部科学省補助事業)における総合調整機関として事業全体の総合調整を行った。

事業項目	事業内容	実施機関
大学等の知のネットワーク構築	地域連携コーディネーター(人間医工学次世代自動車担当、医療関連機器担当各1名)をカーテクノロジー革新センター及びひろしま医工連携推進センターに配置し、各大学の研究者及びコーディネーターと連携して、企業と大学研究者の製品開発に向けた共同研究等を支援	(公財) ひろしま 産業振興 機構

なお、本事業は、当初5年間(平成23~27年度)の事業であったが、終了評価で最高ランクの「S評価」であったため、事業継続(最長3年間)が認められ、平成30年度が最終年度であった。このため、本年度は、事業継続期間における活動報告としての成果報告会(H31.1.31)を開催した。

《評価》

□平成 30 年度目標

□実績

①共同開発テーマ 10 件 ②商品化技術数 5 件 (上記クラスター形成事業の内数)	① 共同開発テーマ 11 件 ② 商品化技術数 9 件 (上記クラスター形成事業の内数)
--	--

□令和元年度の課題

○平成 30 年度で補助事業は終了であるが、地域の自立化として今後とも医療・福祉分野での事業創出や商品化への効果的なコーディネート活動が必要

(10) 地域中核企業創出・支援事業

(国 4,383 千円)

地域の中小企業を対象として産官学金の支援体制を構築し、新分野・新事業進出に向けたプロジェクトを推進する事業であり、対象企業に専任のプロジェクトマネージャーを派遣し、コーディネーターと連携しながらプロジェクトの推進に取り組んだ。

事業名	地域中核事業(支援先)	実施期間
小型超音波画像診断装置による国内外での市場確保及びさらなる新製品開発による医療機器メーカーとしてのブランド力の構築	(有)MIZOUÉ PROJECT JAPAN	10 か月間 (H30.6～ H31.3)

《評価》

□平成 30 年度目標

□実績

①国内におけるさらなる販路開拓 ②市場における製品の信頼性向上 ③海外における新たな販路開拓	①販売ネットワークが拡大 ②学会による研究発表が実現 ③海外での実証評価の実施
--	---

(平成 30 年度で終了事業)

2 人材育成の支援

(68,286千円)

基礎となる技法等の研修を行い、ものづくり研究開発を担う人材の育成を支援した。

(1) 中小企業成長支援人材育成・派遣事業

(国・県・自 28,634千円)

①イノベーションインストラクター育成塾

現場改善や新たな価値の創造に課題を抱える中小企業の現場のリーダー等を対象に、体系的なカリキュラムに基づく実践知を学ぶ塾を開講し、県内企業のカイゼン活動を支援した。

《実績》

【イノベーションインストラクター育成塾の開催】

	広島会場	福山会場
実施期間	H30.5.16~8.1(全 18 日間) 改善報告会:H30.10.19	H30.9.12~11.28(全 18 日間) 改善報告会:H31.2.15
開催場所	広島県情報プラザ、 現場実習先	福山市ものづくり交流館、 現場実習先
内容	概論・手法(理論・演習) →現場実習(実践) →実習成果の発表会 →改善報告会	
参加者	計 14 名 (現役社員 12 名、企業OB(※)2 名)	計 13 名 (現役社員 12 名、企業OB(※)1 名)

※ IT、IoT 及びロボットに知見を有する IT コーディネータ等を含む。

②IoT 導入支援指導者育成

製造業の現場管理者及び業務改革に取り組む情報システム担当者を対象に、IT を活用した業務の効率化や IoT への理解を促すため、「IoT 実践セミナー」を開催した。

さらに、IoT や AI の自社での展開に向けてコストや導入方法等の疑問を解消できるよう、現場改善と IoT 等の相乗効果をテーマに、IoT 等で実現できる主な 6 つの機能を実機(IoT デモライン)で体験できる「改善⇔IoT セミナー」を開催した。

《実績》

【IoT 実践セミナーの開催】

共催：インダストリアル・バリューチェーン・イニシアティブ

協賛：IT コーディネータ協会

	広島会場	福山会場
実施期間	H30.8.24~8.25 (全 2 日間)	H30.8.31~9.1(全 2 日間)
開催場所	広島県情報プラザ	福山市ものづくり交流館
内容	1 日目:IoT の導入効果の説明、IoT 導入プロセスの机上検討及び事例研究 2 日目:参加者が持ち寄った実際の課題(困りごと)を題材に、あるべき姿のシナリオとその実現手段を、ステップを踏みながらグループ演習で検討	
参加者	19 名	19 名

【改善⇔IoT セミナーの開催】

実施期間	H31.3.13	H31.3.14
開催場所	広島県情報プラザ	
内容	<委託先>(株)ロンド・アプリウエアサービス(東京都) 1 講演(ものづくり IoT 概論) 2 IoT デモラインの概要及び機能別説明 ・スマートグラスによる人作業の遠隔支援 ・簡易モニタリングによる設備の稼働監視 ・AI アドバイザーによる技能・技術伝承 ・音声認識による作業日誌の自動作成 ・AI による外観自動検査 ・文字認識による文書管理 3 デモ体験及び質疑応答	
参加者	34 名	31 名

【現場改善インストラクター派遣】

イノベーションインストラクター育成塾を修了し、「ひろしまイノベーションインストラクター」の認定を受けた企業OB及びITコーディネータを、中小企業8社に派遣し、現場改善に取り組んだ。

	企業名	所在地	派遣回数(期間)	インストラクター名
1	(株)内海機械	府中市	5 回(H30.5~H30.11)	中川政司
2	高橋工芸(株)	府中市	5 回(H30.6~H30.11)	中川政司
3	(株)アイケイアイ	広島市	5 回(H30.6~H30.12)	中川政司
4	八橋装院(株)	広島市	6 回(H30.10~H31.3)	伊藤大介 (IT コーディネータ)
5	(株)シナジー	東広島市	6 回(H30.11~H31.3)	・井良平 (IT コーディネータ)
6	中国自動車工業(株)	広島市	6 回(H30.12~H31.3)	藤本彰光 (IT コーディネータ)
7	農事組合法人吉浦牧場つくし分場	世羅町	6 回(H31.1~H31.3)	藤本彰光 (IT コーディネータ)
8	(株)プラスコーポレーション	福山市	4 回(H31.2~H31.3)	伊藤大介 (IT コーディネータ)

《評価》

□平成 30 年度目標

□実績

<p>①イノベーションインストラクター育成塾 育成者数 24 名</p> <p>②IoT 導入支援指導者育成 育成者数 40 名</p> <p>③現場改善インストラクター派遣 15 社(うち、IT コーディネータの資格を持つインストラクターの派遣は 5 社)</p>	<p>①計 27 名(広島会場 14 名、福山会場 13 名)を育成した。</p> <p>②計 103 名(IoT 実践セミナー38 名、改善⇄IoT セミナー65 名)を育成した。</p> <p>③IT コーディネータは 5 社に派遣したが、トータルでは 8 社の派遣にとどまった。</p>
---	--

□令和元年度の課題

<p>①イノベーションインストラクター育成塾の育成者数は、リピーター企業の参加も得て目標を達成することができたが、新たな参加者の発掘(啓発広報)及び講義内容のブラッシュアップをする必要がある。また、これまでの修了者へのアンケートを踏まえ、「育成塾での学び直し(任意の単元へのオブザーバー参加)」、「企業内教育現場への出前講座」及び「実践交流会(他社の改善事例の共有)」等の取組を検討したい。</p> <p>②IoT 導入支援指導者育成については、セミナーを、IoT の普及啓発を全国レベルで推進している団体と連携して開催したことで、目標を達成することができた。今後は、IoT 等の実装の検討段階に入る企業をどうサポートするか、その方向性を検討する必要がある。</p> <p>③現場改善インストラクター派遣については、目標の半分にとどまり、派遣先企業の開拓を要する。併せて、登録インストラクターを増やす必要がある。</p>
--

(1) ひろしまデジタルイノベーション推進事業 (県・自 23,280 千円)

クラウド型スーパーコンピュータを整備した「ひろしまデジタルイノベーションセンター」(HDIセンター)において、ハイパフォーマンスコンピューティング(HPC(スーパーコンピュータ))活用のための普及啓発やMBD(モデルベース開発)・CAE(コンピュータ支援エンジニアリング)に関する研修を実施することで、トライ&エラーに頼りがちな「ものづくり」をデジタル化し、ものづくり企業のコスト削減、開発期間の短縮などにより企業競争力を高めるとともに、域外に流出しているエンジニアリングサービス等を地域内で実践できるデジタルイノベーション人材の育成を支援した。

①モデルベース開発(MBD)研修

ものづくり企業の開発業務の効率化、品質の向上と新たな商品価値の創出を推進するため、MBDの手法を用いた研修を実施した。機械、電気、制御ソフトの全要素が含まれたメカトロシステムの教材を使った演習を通してMBDプロセスを実体験する研修を開催し、MBDの意義及び開発プロセスの全体像について理解を深め、企業内でMBD適用の中核を担う人材への成長を支援した。

②MBD/CAE研修

材料力学や流体力学など工学理論を学び、現象について理解をより深める学び直しの場としての研修(理論編)や、CAE解析のための基礎理論から応用までを、構造、流体、鋳造・樹脂射出成形等のテーマ別で習得する研修(実習編)を開催するほか、CAEソフトでできることや利用するイメージを把握するための紹介セミナーを開催するなど、デジタルイノベーション人材育成を支援した。

③HPC利用促進イベント

HDIセンター利用方法、CAEの概念、CAE技術者の心得等について、説明し、利用の効果に関する周知するなど、HPC/CAE活用の普及啓発を行ったほか、エンジニアの交流の場を設けた。

《評価》

□平成30年度目標

- ①モデルベース開発(MBD)研修
3回以上開催:40名以上参加
- ②CAE研修
 - 理論研修
12回以上開催:1200名以上参加
 - 実習(ソフト紹介セミナーを含む)
8回以上開催:80名以上参加
- ③HPC利用促進イベント
6回以上開催:500名以上参加

□実績

- ①モデルベース開発(MBD)研修
 - プロセス研修(東広島・福山)
2回開催:48名参加
- ②CAE研修
 - 理論研修(広島)11テーマ
12回開催:計720名参加
 - 実習(ソフト紹介セミナー、長期共同研修含む)
(東広島)16回開催:101名参加
- ③HPC利用促進イベント
17回:970人参加

□令和元年度の課題

(課題)

- MBD研修:2回開催で参加数は目標達成。ただし県外参加者が多く、県内企業活性化が必要。3回目の機能設計研修(新規カリキュラム)は実施できず。準備は進めているが加速要。
- CAE理論研修:研修分野を増やし実施。全参加数は減少。ニーズマッチングを見直し継続要。
- CAE実習:効果的な開催に努めた結果、参加者は増加。企業ニーズを反映した研修内容にするとともに、関係機関と協力し新たな研修実施。デジタルものづくり塾(経済同友会と共同)⇒利用に直結している。

(取組)

- PDCAを回すとともに特徴的な取り組みを強化し、広島発のMBD/CAE人材育成のプロセスとして完成させる。
 - ・MBD研修:新規研修でニーズ対応 * MBDアドバンス研修 * 機能設計研修
 - 長期CAE研修:エンジニアが実践できるまでをサポートする * 長期研修充実

(3) 自動車関連産業人材育成事業

(県 16,372 千円)

自動車関連産業の人材育成を促進するため、バリューエンジニアリング活動（VE活動）関連研修会、技術課題の解決手法であるTRIZ（革新的問題解決手法）の研修会、技術者の業務遂行能力向上のための研修会、自動車工学に関する基礎講座等を実施し、地場自動車関連企業の研究開発力を支える人材の強化を図った。

①自動車工学基礎講座等の開催

地場自動車部品サプライヤーにおいても車両全体を理解した上での高度な提案が求められる傾向を受け、研究開発に従事する技術者に包括的・体系的な自動車工学の基礎の研修会を開催し、習得機会を提供し、自動車分野のものづくり人材の育成土台とした。

②VEセミナー（研修会）の開催

企業の実務者を対象に、製造事業者等が用いるコスト低減、機能向上のためのバリューエンジニアリング（VE）手法を習得する研修会を企画・開催した。

③ベンチマーキング活動の支援

ベンチマーキング活動と連携し、参画企業のVE活動を支援した。

④TRIZ研修会等の開催

VE活動をさらに効果的なものとするため、技術課題を効率的に解決するための手法であるTRIZ（革新的問題解決手法）の県内企業における導入を促進するため研修会等を実施した。

⑤技術者の業務遂行能力向上のための研修会等の開催

専門的な用語を平易に説明するための技術や、プレゼンテーションの内容構成や伝え方のポイント、コーチングなど、技術者のコミュニケーション能力向上による、業務遂行能力を向上させるための研修会を実施した。

《評価》

□平成30年度目標

□実績

自動車部品サプライヤーのニーズにマッチした人材育成プログラムを実施する。

- ①自動車工学基礎講座
- ②VEセミナー
- ③TRIZセミナー
- ④仕事力向上研修

①自動車工学基礎講座

参加者：121名
理解度：82%、満足度：90%

②VEセミナー

参加者：基礎コース71名、実践コース20名
理解度：基礎コース80%、実践コース100%
満足度：基礎コース88%、実践コース95%

③TRIZセミナー

参加者：15名
理解度：93%、満足度：67%

④仕事力向上研修

参加者：58名
理解度：98%、満足度：98%

□令和元年度の課題

○KPI「定着度」目標：27社／54%@R1（←24社／48%@H30）

地域企業個社の人材育成カリキュラムとして定着

○デジタル革命等の変化対応：自動車工学基礎講座の講座アップデート、新講座開設、R2年度に向けて、デジタル人材の地産地活構想を策定

○Stage-1・地域企業経営者へのアプローチ強化：ひろ自連と共催、最新トレンドの講演

○定員割れ講座対応：TRIZ、VE@福山の対応策

経営革新の促進

(56,211 千円)

1 取引先開拓の支援

(43,080 千円)

(1) 取引商談会等マッチング支援事業

(国・県 38,269 千円)

① 下請取引あっせん（受注量の確保、発注の開拓、登録の促進）

県内中小企業の受注量の確保を図るため、県内外の発注企業に対して積極的な発注開拓を行い、取引先の紹介を希望する受注企業にあっせんを行った。また、WEBの活用を促進し、より迅速なあっせん活動に努めた。

② 受注体制の強化サポート

県内中小企業の販路開拓を支援するため専門調査員を3名、補助員を1名配置し、受発注企業の情報収集や提供を積極的に行うとともに、経営・技術相談にも応じ、県内中小企業の経営基盤強化を図った。

③ 受・発注情報の収集・提供

県内外の発注企業から収集した発注情報をEメール等でリアルタイムに提供した。
また、大企業等が行うニーズ説明会への参画並びに共同開催した。

④ 広域取引商談会推進事業

県内中小企業の広域的な受注機会の増大と新規取引先の開拓を支援するため、製造業全般を対象とした広域取引商談会を実施した。また、急を要する発注案件などに対応した単独発注企業の個別商談会を適宜実施した。

《実績》

【広域取引商談会】

第1回 福岡地区広域取引商談会

開催時期	平成30年6月6日(水)
開催場所	ホテルセントラーザ博多(福岡市)
参加企業	発注企業19社 受注企業38社
内容	個別面談方式
商談件数	105件

第2回 中国ブロック合同広域取引商談会

開催時期	平成30年9月13日(木)
開催場所	ホテルグランヴィア広島(広島市)
参加企業	発注企業78社 受注企業203社(内広島県89社)
内容	個別面談方式
商談件数	721件(内広島県300件)

第3回 広島県豪雨災害緊急商談会

開催時期	平成30年11月26日(月)
開催場所	ホテルグランヴィア広島(広島市)
参加企業	発注企業54社 受注企業75社
内容	個別面談方式
商談件数	281件

第4回 福山地区広域取引商談会

開催時期	平成31年2月7日(木)
開催場所	福山ニューキャッスルホテル(福山市)
参加企業	発注企業 36社 受注企業 69社
内容	個別面談方式
商談件数	206件

【個別商談会】

	発注企業名	所在地	開催日	開催地	発注内容	参加企業数
1	サンショウ(株)	静岡県浜松市	H30.4.12	広島市他	自動車シート加工	3社
2	(株)佐野商事	広島市	H30.5.8	広島市	建築用樹脂加工	1社
3	(株)西部電気	福岡県古賀市	H30.5.17	福山市他	アルミタンク加工	7社
4	JFEエンジニアリング(株)	三重県津市	H30.6.14 ~15	広島市他	コンテナクレーン 部品	6社
5	(株)エージェンシーアシスト	京都府久世郡	H30.6.20 ~21	福山市他	機械加工	6社
6	(株)賣角ギアー	兵庫県姫路市	H30.7.11	姫路市	歯車加工	1社
7	(株)日留田製作所	広島市	H30.7.24	福山市	銅合金製造	1社
8	昭和精機(株)	兵庫県神戸市	H30.9.11	福山市	シリンダーチューブ加工	1社
9	(株)西部電機	福岡県古賀市	H30.9.21	福山市	アルミ機械加工	3社
10	(株)ジェイテック	東京都	H30.9.26 ~27	広島市	機械製作	3社
11	(株)Nest	広島市	H30.10.4	広島市	機械加工(レーザー)	1社
12	(株)日立プラントメカニクス	山口県下松市	H30.10.16	下松市	環境装置メンテ 工事	1社
13	ヒカワ精工(株)	島根県出雲市	H30.10.23	福山市	機械加工	1社
14	長島精工(株)	京都府宇治市	H30.11.1	広島市	機械加工、製針	2社
15	大晃機械工業(株)	山口県田布施町	H30.11.20	山口県田布施町	表面処理 (溶融亜鉛メッキ)	1社
16	長州産業(株)	山口県山陽小野田市	H30.11.20	山口県山陽小野田市	表面処理 (溶融亜鉛メッキ)	1社
17	テック・ワーク(株)	京都市	H30.12.13	府中市・東広島市	機械加工	3社
18	西部電機(株)	福岡県	H30.12.13	尾道市・福山市	機械加工	2社
19	イワブチ(株)	千葉県	H31.3.18	福山市・府中市	板金加工	3社

《評価》

□平成30年度目標

□実績

<p>①下請取引あっせん</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マッチング件数 750 件 ・マッチング成立件数 85 件 ・当初成約金額 250 百万円 <p>②受注体制の強化サポート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業訪問件数 300 件 <p>③受・発注情報の収集・提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報提供 延べ 10,000 社 ・ニーズ説明会 2 回 <p>④広域取引商談会推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域取引商談会 4 回 ・個別商談会 15 回 	<p>①下請取引あっせん</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マッチング件数 1,106 件 ・マッチング成立件数 112 件 ・当初成約金額 407 百万円 <p>②受注体制の強化サポート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業訪問件数 527 件 <p>③受・発注情報の収集・提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報提供 延べ 16,341 社 ・ニーズ説明会 2 回 <p>④広域取引商談会推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域取引商談会 4 回 (福岡、広島、広島(豪雨災害対策)、福山) ・個別商談会 19 回
---	---

□令和元年度の課題

<p>○下請取引あっせんでは、効果的なマッチングに向けた受発注企業のニーズの把握(企業訪問、アンケート調査)</p> <p>○受発注情報の提供に関して、登録企業の内容について最新情報の把握・更新(保有設備、メールアドレス等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商談会 新規発注企業の招聘に視点を置いた発注開拓の強化及び受け皿となる受注企業のニーズの把握と新規登録企業の掘り起し ・発注案件発掘強化及び発注ニーズに沿ったマッチングと迅速な対応

(2) モノづくりパートナーシップ支援事業

(自 2,481 千円)

中小企業グループの経営資源を相互に活用・連携することで、親事業者との取引関係を多様化し、経営の安定を図ることを目的とした取組を支援している。

①「ヤマトプロジェクト」の運営

高度で多様化する発注ニーズに対応するため、県内で生産形態の異なる意欲あるものづくり企業による連携グループ「ヤマトプロジェクト」を発足し、課題解決型のビジネス展開に向けた共同受注や共同営業活動等を支援した。(構成企業：会員 13 社 賛助会員 4 社)

【ヤマトプロジェクト活動実績】

(3 月末現在)

	開催	支援内容
セミナー	H30.5.18	・人材確保セミナー 講師：広島県留学生生活躍支援センター 尾本 勝昭氏 (公財)国際人材育成機構 岡野 義一氏
	H30.8.24	・任意団体と法人の特質 講師：坂田経営総合法律事務所 坂田 英俊氏
	H31.1.18	・PL保険の概要 講師：AIG損害保険(株) 川崎 賢三氏 ・京都試作ネット 講師：高木金属(株) 高木 正司氏
推進委員会	7 回	事業運営方針検討(会則の見直し、法人化、製品開発等)
総会	5 回	事業運営の決定・情報交換(法人化・商標登録、共同営業、製品開発等)
製品開発	随時	・マルチ振動センサーの開発、販売 ・ニュータイプスマホケースの開発

②自動車関連企業新分野展開等支援

自動車関連企業におけるEV化の進展等による生産構造の変革等に対応するため、コア技術を活かした新分野での新規取引先等の開拓を支援する事業を実施した。

- 支援内容：関西圏におけるマッチング専門機関による営業支援
- 支援機関：産業人OBネット
- 支援グループ：CNBトーユー（自動車関連サプライヤー9社）

③展示会出展支援

共同受注又は新製品開発体制の構築による販路の拡大を図り、将来的に起業化を目指す企業グループを対象に首都圏で開催する展示会への出展を支援した。

- 展示会：新価値創造展 2018（第14回中小企業総合展 東京）
- 開催時期：平成30年11月14日～16日
- 開催場所：東京ビッグサイト 東2・3ホール（東京都江東区有明3-11-1）
- 支援グループ：ヤマトプロジェクト、CNBトーユー、備後ものづくりネットワーク

《評価》

平成30年度目標

実績

<p>①共同受注グループヤマトプロジェクトの事業活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専従営業者の配置 ・個別商談会等での受注案件発掘 ・製品開発サポート <p>②県内共同受注グループの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新価値創造展 2018 出展支援 3グループ <p>③自動車関連企業新分野展開等支援事業 関西圏での新規取引先拡大等の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援グループ 1グループ ・支援回数 3回（戦略会議、マッチング等） <p>④マッチング成約件数 10件 成約金額 75百万円</p>	<p>①共同受注グループヤマトプロジェクトの事業活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専従営業者としてマーケティング&プロモーションマネージャー1名を配置 ・法人化の準備として、弁護士をアドバイザーボードとして招聘し課題等を整理 ・受注案件発掘を視野に入れ、(株)前川製作所の工場見学を実施 ・製品開発サポートとして、弁理士をアドバイザーボードとして招聘し、特許取得等の課題を整理 <p>②県内共同受注グループの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新価値創造展 2018 出展に向けた準備を実施 3グループ(15社) <p>③自動車関連企業新分野展開等支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援グループ 1グループを採択(自動車関連企業グループ) ・支援回数 9回（戦略会議、マッチング） <p>④マッチング成約件数 29件 成約金額 162百万円</p>
---	--

令和元年度の課題

- 自立運営の定着、グループの強みを活かした事業展開及び販路拡大
- グループ企業の技術が活かせる発注案件の発掘及び商談会参加発注企業の招聘
- 組織運営、製品開発、共同就活に関する有益な情報提供及び専門家の紹介等、グループの自立化・活性化に向けた財団職員のフォローアップ

(3) ソリューション型営業支援事業（大都市圏販路拡大支援事業）

（県 2,329 千円）

県内中小企業者が、自社の技術等のPRを主体とした営業から取引先のニーズに対応した課題解決型の提案営業を実践するためのセミナーを開催した。また、マッチング支援機関の専門人材により、新規取引先開拓や独自営業の習得について個別支援を実施した。

事業内容	参加企業数	実施時期
■課題解決型営業セミナーの開催 講師:コスモ経営 大間 清 ・提案営業の進め方 ・顧客ニーズ(課題)の引き出し方 ・課題解決に向けた企画提案書の作り方	35 名	H30.5.15 H30.5.24
■大都市圏での独自営業支援 ・営業戦略策定 ・ターゲット企業選定 ・同行営業等の支援 支援機関 関東圏 経営支援NPOクラブ 関西圏 産業人OBネット	5 社・ 1 グループ	H30.7 初旬～ 12 末

《評価》

平成 30 年度目標

実績

①課題解決型営業セミナー ・開催回数 2 回 ・参加者 50 名 ②大都市圏での営業支援 ・参加企業 6(社・グループ)	①課題解決型営業セミナー ・開催回数 2 回 ・参加者 35 名 ②大都市圏での営業支援 ・参加企業 5 社、1 グループ
--	---

令和元年度の課題

○セミナーから個別営業支援への連携を強化し、より効果的な同行営業を可能とすること。
 ○財団職員による発注企業情報の提供や支援企業へのフォローアップ。

(4) 下請かけこみ寺

下請取引の適正化を推進するため、下請取引上の悩みを抱える県内中小企業に対して、専門相談員による指導・助言を行うとともに、価格交渉の際の法的知識や交渉ノウハウを習得するセミナーを開催した。（専門相談員の設置：1 名）

《実績》

【相談実績】

下請代金法関係							建設業	運送業	その他	合計
支払遅延	代金減額	返品	買い叩き	不当利益提供要請	その他	計				
0 件	0 件	0 件	2 件	3 件	0 件	5 件	39 件	8 件	62(2)件	114(2)件

※()は弁護士相談件数

※相談内容の内訳:代金回収 40件、解約・取引中止 10件、代金法違反等 7件、契約・取引方法 6件、その他 51件

【価格交渉サポートセミナーの開催】

開催日	会場	受講者数
平成 30 年 9 月 7 日	広島県情報プラザ	43 名
平成 31 年 1 月 25 日	広島県福山庁舎	45 名
計		88 名

《評価》

□平成 30 年度目標

□実績

①相談業務（相談件数 100 件）

①相談業務（相談件数 114 件）

②価格交渉サポートセミナー

②価格交渉サポートセミナー

・実施回数 2 回/年 ・参加者 100 名

・実施回数 2 回/年 ・参加者 88 名

□令和元年度の課題

○相談件数は目標を上回り、価格交渉サポートセミナーの参加者は目標を下回った。

○かけこみ寺相談業務のPRを行い、適正な相談業務の実施を図る。

（今年度は、価格交渉サポートセミナーは中止となった。）

2 情報化の支援

(8,979 千円)

(1) インターネットによる各種支援情報等提供事業

(県 8,979 千円)

インターネットを活用した情報発信機能の向上を図るため、行政や支援機関等と連携した情報提供を行った。

《評価》

□平成 30 年度目標

□実績

○インターネット接続を含めた財団ネットワーク (hiwave) の安定的な運用

年間を通じて、大きなネットワークトラブルが発生することなく、良好な情報発信環境を維持した。

○年間を通じて各種支援策等の情報のタイムリーな発信

□令和元年度の課題

○ネットワークの保守に係る経費を削減～システム構成の見直しを検討

○ネットワークセキュリティの向上～職員研修等の機会を活用して、セキュリティの確保について注意喚起

(2) 情報誌等発行事業

当機構が実施する各種支援施策や企業等が必要とする情報等を掲載した広報誌「産振構ニュース」や当機構のパンフレット「ACTIVE」等を発行し、企業等へ情報提供を図るとともに、事業の積極的な利用を促進した。

○産振構ニュース発行回数 : 年 4 回

《評価》

□平成 30 年度目標

□実績

○産振構ニュースの配布先の開拓

○配布部数を大きく増やすことはできなかった。
・2 か所 130 部の配布増

□令和元年度の課題

○産振構の活動や支援制度等についての周知を図るためのツールとして、産振構全体として配布先と部数の検討が必要である。

3 産業人材の育成

(4,152千円)

- (1) 自動車関連産業人材育成事業（再掲）
- (2) 中小企業成長支援人材育成・派遣事業（再掲）
- (3) ひろしまデジタルイノベーション推進事業（再掲）
- (4) 中小企業大学校広島校運営協力事業

(県 4,152千円)

中小企業の経営者、後継者及び幹部職員等の人材育成を通じて、本県中小企業の振興に大きな役割を果たしている中小企業大学校広島校に職員を派遣し、中小企業の人材育成を支援した。

《評価》

平成30年度目標 実績

<input type="checkbox"/> 職員派遣1名の継続	<input checked="" type="checkbox"/> 職員派遣を継続し、中小企業大学校の運営に協力した。
------------------------------------	---

令和元年度の課題

<input checked="" type="checkbox"/> 引き続き、職員派遣を継続し、中小企業大学校の運営に協力する。
--

4 異業種交流の促進

- (1) 広島県異業種交流連絡協議会の運営

県内の5異業種グループ（延べ194社）が相互の経営資源を持ち寄って交流し、その補完効果と相乗効果によって自社の経営資源を高め、総合的な経営力の強化が図られるよう支援活動を行った。

開催日	内 容	参加者
H30.6.5	役員会 総会 講演会 演題「金正恩vsトランプ—戦争か核武装か」 講師 県立広島大学 国際文化学部 国際文化学科 専任講師 原 理 氏	役員会：9名 総 会：15名 講演会：16名
H30.10.24	県外企業見学会 ・ミズノテクニクス(株) 山崎ランバード工場 ・北斗電子工業(株) ・音羽電機工業(株) ・長谷川電機工業(株)	17名

- (2) 異業種交流グループの支援

次の2つの異業種交流グループの運営を行い、会員企業の経営力の向上のために、業種の垣根を越えて、広く情報交換や視察、学習の場を設けた。

【広島県異業種交流サロン】

開催日	内 容	参加者
H30.6.12	役員会 総会 講演会 演題「働き方改革における新たなリーダーシップ —多様な人材が活躍する組織と社会に向けて—」 講師 県立広島大学経営管理研究科教授 木谷 宏 氏	役員会：9名 総 会：13名 講演会：16名
H30.9.19	中間役員会 企業PR発表会(19名) ・オタフクホールディングス(株) 人事部 双和 寛子 氏 ・宗盛電気サービス(株) 代表取締役 宗盛 文幸 氏	役員会：9名 発表会：19名
H30.11.15	県内企業見学会 ・オタフクソース(株) 本社工場 お好み焼き体験スタジオ ・コベルコ建機(株)	18名

H30.12.4	講演会 演題『健康と働き方改革～人生100年時代、超えから始める加齢の極意』 講師 東京医科歯科大学 名誉教授 藤田 紘一郎 氏	22名
H31.1.23	新春講演会 演題『今ここで ここで今』 講師:鈴木 秀俊氏	16名
H31.3.26	役員会 ・平成30年度事業実績、収支決算 ・平成31年度事業計画、収支予算 講演会 演題『旅は学校』 講師:国際ビジネスコンサルタント 小川久志氏	役員会:11名 講演会:14名

【自立研究会（事務局：福山支所）】

開催日	内容	参加者
H30.4.6、7	青年部視察研修 第2回AI・人工知能EXPO(東京ビッグサイト)	4名 (青年部)
H30.5.16	総会	12名
H30.7.4	海外視察研修分科会	5名
H30.7.26	講演会及び海外視察研修分科会 ・演題「道産子じゃけえ」 講師 (株)ツシマエレクトリック 代表取締役 熊谷 光浩 氏 ・演題「匠の技 表装の世界」 講師 東洋額装(株) 専務取締役 小林 力 氏	12名
H30.9.12	第1回役員会 ・平成30年度下半期行事計画策定ほか	5名
H30.10.17	県外視察研修(大阪) ・大阪MOBIO(ものづくりビジネスセンター大阪) ・松下幸之助歴史館	4名
H30.11.8	海外視察研修(中国・成都) ・広島県東部機械金属工業(協)、広島県異業種交流サロン合同参加 ・宝之源彫塑成都有限公司視察 ・JETRO 成都事務所 田中一誠所長による地域分析、景気動向解説	8名

《評価》

平成30年度目標

実績

<p>①広島県異業種交流連絡協議会の事務局として適切な運営</p> <p>②異業種交流グループの事務局として適切な運営</p> <p>・異業種交流サロン</p> <p>・自立研究会(事務局:福山支所)</p>	<p>①異業種交流連絡協議会の事務局として、役員会・総会を開催し、予算・決算・事業計画等を決定の上、講演会等を開催した。</p> <p>②異業種交流グループの事務局として、役員会・総会等を開催し、予算・決算・事業計画等を決定の上、講演会等を開催した。</p>
--	---

令和元年度の課題

<p>○会員の意見、要望等を踏まえた事業を実施することで、会員企業の経営力の向上並びに交流のために一層努めていく。</p>

資金等の支援

(98,038 千円)

1 設備導入の支援

(74,519 千円)

(1) 設備貸与債権管理事業

(自 71,890 千円)

小規模企業者等を実施した設備貸与の定期償還、及び未収債権の回収業務を行うとともに、未収債権の発生を未然に防止するため、貸与企業に対して、経営状況の調査及び巡回・事後指導を行った。

○経営状況の調査：年1回 13社

○巡回・経営事後指導：5社

○滞納等状況（設備貸与）

貸付残高(千円)	貸付件数	内未収残高(千円)	内未収件数	滞納率(%)
43,315	15件	21,255	5件	49.1

《評価》

平成30年度目標

実績

<p>①定期償還、未収債権の未然防止</p> <p>・経営状況の調査 16社 ・巡回経営指導 5社</p> <p>②未収債権の回収</p> <p>・回収額 1,500千円</p>	<p>①定期償還、未収債権の未然防止</p> <p>・経営状況の調査 13社・巡回経営指導 5社</p> <p>②未収債権の回収</p> <p>・回収額 1,460千円</p>
---	--

令和元年度の課題

- ①未収債権の未然防止に対する取り組み及び未収債権回収を予定通り実施し、概ね目標を達成した。
- ②継続的な未収債権回収と返済の滞っている保証人への督促を強化する。

(2) 設備資金債権管理事業

(自 2,629 千円)

小規模企業者等に貸し付けた設備資金の未収債権の回収業務を行った。なお、平成28年6月をもって定期償還業務は終了した。

《評価》

平成30年度目標

実績

○時効中断及び未収金の回収	○1千円回収し時効を中断
---------------	--------------

令和元年度の課題

- 保証人との交渉により未収債権の時効は中断したが、回収金額は少額であった。
- 事業再生計画の進捗等を注視し、定期的な返済を要請する。

2 中小企業等育成資金の支援

(1) 中小・ベンチャー企業チャレンジ応援事業（再掲）

(2) 企業育成型ひろしま投資事業有限責任組合事業

①広島県公的投資事業組合【1号組合】

○県内に事業所を有するか、県内に事業所を設け事業化するために投資を希望する企業を対象とし1社当たりの投資額は2億円以内

○平成29年12月末組合期間満了、清算済み

②広島県ベンチャー誘致投資事業組合【3号組合】

○本県を拠点とした事業化の意思のある県外に本社を有する研究開発型ベンチャー企業を対象

○平成32年12月末まで組合期間を延長

③企業育成型ひろしま投資事業有限責任組合【4号組合】

○新事業展開や第二創業等に取り組む設立後7年未満か、経営革新計画の知事承認を受けている中小・ベンチャー企業を対象とし1社当たりの投資額は5,000万円以内

○平成30年12月末まで組合期間を延長

【投資状況】

組合名	投資企業数(社)				出資額(億円)		組合資産	内訳
		上場企業	倒産企業	その他		投資額		
1号	26	5	3	18	10.00	5.01	13.22	出資額等 1,024 百万円 売却等損益 1,021 百万円 管理経費等 723 百万円
3号	2	-	-	-	0.63	0.40	-	-
4号	15	-	2	11	5.00	3.16	-	-
計	43	5	5	29	15.63	8.57	13.22	

《評価》

平成30年度目標

実績

○2つの投資事業組合の管理事務を適正に実施

○1投資事業組合の清算手続きも含め、3つの投資事業組合の管理事務を適正に実施した。

令和元年度の課題

○引き続き、残る2つの投資事業組合(3号・4号組合)の管理事務を適正に実施する。

3 被災中小企業の支援

(県・自 23,520 千円)

被災中小企業施設・設備整備支援事業

平成 30 年 7 月豪雨により被災した中小企業が、グループ補助金（補助率：3/4）を受けて施設又は設備の復旧・整備等を行う場合に、補助金の自己負担分（1/4 相当分）に対して無利子による貸付を行うこととし、実施体制の整備と貸付相談等を実施した。

《評価》

平成 30 年度目標

実績

無利子貸付制度の円滑な運用

県と連携し、グループ補助金交付決定企業へのアンケート調査を実施

制度運用のための各種要領・マニュアル等の整備

令和元年度の課題

借入申込企業においては、申込書類作成等に時間を要している。今後とも、借入検討中の企業も含め、現地訪問での相談対応などキメ細かな支援を実施する。

被災中小企業等への無利子貸付制度の周知を進める。

国際ビジネスの支援

(53,315千円)

1 相談・コーディネート

(県・団体・自 21,093千円)

(1) 上海事務所コーディネート事業

上海に設置している海外事務所を運営し、上海及び周辺エリア等を対象に県内企業の中国ビジネスの取組を支援した。

【相談・情報提供】

アドバイス・相談	・現地の商慣習や法令等に関するアドバイス、貿易相談
情報の収集・提供	・現地の経済状況や物流事情・市場概況等、簡易な個別企業の情報、見本市・商談会等の情報の収集、提供 ・観光関連情報の収集、提供
機関又は専門家の紹介	・個別企業のニーズに応じた専門的な市場調査、企業信用調査契約書作成などの専門的機関又は専門家の紹介

【コーディネート】

取引先の発掘・紹介	・取引先・提携先企業のリストアップ ・現地企業等への取引等の意向確認
商談設定・現地同行	・県内企業の現地企業等への訪問アポ取得・アテンド、 ・現地でのブリーフィング※通訳や移動等経費は原則、利用者負担
商談フォローアップ	・商談先企業の意向調査、商談成立に向けた商談先企業への連絡、働きかけ

■ 相談事例

【相談情報提供】	
アドバイス・相談	・現地法人設立に関するアドバイス ・市場調査等に係る訪問先選定へのアドバイス ・現地規程、法令等の調査及びアドバイス
情報の収集・提供	・関税関連情報の提供 ・上海の賃貸事情調査 ・現地展示会の情報収集、提供 ・商標調査及び商標登録申請支援
機関・専門家の紹介	・通訳者の斡旋
【コーディネート】	
取引先の発掘・紹介	・販売先候補現地企業の概要調査 ・資材入手先のリストアップ
商談設定・現地同行	・現地企業調査先の設定および同行
その他	・上海ニュースの配信

(2) 海外ビジネスサポーターコーディネート事業

県内企業の関心の高い地域に海外ビジネスサポーターを配置し、県内企業の海外ビジネスの取組を支援した。

<配置地域・都市一覧表>

地域名	都市名
東南アジア	シンガポール、バンコク、ハノイ、ホーチミン、ジャカルタ
東アジア	大連、台北
南アジア	チェンナイ
北アメリカ	ニューヨーク

【相談・情報提供】

アドバイス・相談	・現地の商慣習や法令等に関するアドバイス、貿易相談
情報の収集・提供	・現地の経済状況や物流事情・市場概況等、簡易な個別企業の情報、見本市・商談会等の情報の収集、提供
機関又は専門家の紹介	・個別企業のニーズに応じた専門的な市場調査、企業信用調査、契約書作成などの専門的機関又は専門家の紹介

【コーディネート】

取引先の発掘・紹介	・取引先・提携先企業のリストアップ ・現地企業等への取引等の意向確認
商談設定・現地同行	・県内企業の現地企業等への訪問アポ取得・アテンド、 ・現地でのブリーフィング※通訳や移動等経費は原則、利用者負担
商談フォローアップ	・商談先企業の意向調査、商談成立に向けた商談先企業への連絡、働きかけ

■相談事例

【相談情報提供】

アドバイス・相談	・現地法人設立に関するアドバイス(小売業、サービス業他) ・販路開拓に関するアドバイス(一般機械、日用品他)
情報の収集・提供	・取引先候補企業情報の調査 ・関連展示会情報の情報収集、提供 ・環境機器、農産品の市場調査 ・現地日系企業情報の提供
機関・専門家の紹介	・観光ビジネス関連機関の紹介 ・現地人材派遣機関の紹介

【コーディネート】

取引先の発掘・紹介	・販売先候補のリストアップ(飲料、装飾具、日用品) ・委託加工先のリストアップ
商談設定・現地同行	・現地調査への同行 ・展示会での現地サポート

■実績

相談・情報提供			コーディネート			計
アドバイス・相談	情報の収集・提供	専門家等の紹介	取引先の発掘・紹介	商談設定・現地同行	商談フォローアップ	
17	47	0	39	11	0	114件

(3) 企業個別相談事業

県内企業の国際ビジネスの課題解決等のため、海外ビジネスサポーターやその他専門家による企業個別相談会を開催した。

【海外ビジネスサポーター等企業個別相談会】

	開催日・場所	内 容	参加者	
			満足度	
			目標	実績
中国ビジネス個別相談会	H30.8.24(広島)	上海事務所による中国ビジネス個別相談 (中国ビジネスセミナー併設)	2社	3社
			90%	100%
中国ビジネス個別相談会	H31.3.12(広島)	上海事務所による中国ビジネス個別相談 (中国ビジネスセミナー併設)	2社	2社
			90%	100%
米国ビジネス個別相談会	H30.6.19(広島) H30.6.20(福山)	ニューヨークビジネスサポーター等による米国 ビジネス個別相談 (海外ビジネスセミナー併設)	4社	8社
			90%	100%
インドビジネス個別相談	H31.2.21、22 (広島)	チェンナイビジネスサポーターによる ビジネス個別相談 (インドビジネスセミナー)	4社	6社
			90%	100%
合計			12社	19社
			90%	100%

(4) 国際ビジネス相談事業

県内企業等からの貿易・海外投資等についての各種照会や相談を受け付け、当機構の海外事務所や海外ビジネスサポーターのネットワークを活用するほか、関係機関とも連携し、調査回答や情報提供を実施した。

■ 相談事例

【相談情報提供】	
アドバイス・相談	<ul style="list-style-type: none"> ・輸入ルートについてのアドバイス ・契約書作成についてのアドバイス
情報の収集・提供	<ul style="list-style-type: none"> ・海外に金属加工拠点を持つ日系企業の情報提供 ・現地企業調査先候補についての情報提供 ・輸出規制情報の提供
機関・専門家の紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・翻訳者の斡旋 ・海外人材関連機関の紹介 ・海外関連産学連携機関の紹介
【コーディネート】	
取引先の発掘・紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・食品関連バイヤーの紹介 ・一般消費財関連バイヤーの紹介
商談設定・現地同行	<ul style="list-style-type: none"> ・国内外資企業と県内企業とのマッチング支援 ・海外通商機関を通じた県内企業のマッチング支援

《評価》

□平成30年度目標

□実績

企業への個別支援に関する件数 ①上海事務所 96件 ②海外ビジネスサポーター 61件 ③国際ビジネス支援センター 90件 ④企業個別相談会 12社	企業への個別支援に関する件数 ①上海事務所 113件 ②海外ビジネスサポーター 114件 ③国際ビジネス支援センター 101件 ④企業個別相談会 19社
---	--

□令和元年度の課題

○海外拠点における「相談・コーディネート」を強化し、ビジネスパートナーの発掘から、商談設定、アフターフォローまでトータルにサポートした結果、企業からの相談件数が増加した。
 ○引き続き、海外拠点における有用な現地情報発信に加え、支援メニューなどを周知し、県内企業の利用促進を図る。

2 ビジネスマッチング

(県・団体・自6,621千円)

(1) 海外販路拡大支援事業

海外での輸出商談会や海外バイヤー招へいによる輸出商談会の開催等により県内企業の海外販路の開拓・拡大を支援した。

①消費財等販路拡大支援事業

上海事務所を活用して、中国における食品及びその他消費財の輸出促進のため、商談会等を開催した。

	開催日・場所	概要	参加者満足度	
			目標	実績
上海食品商談会 (広島県委託事業)	H30.11.12 上海花園飯店	上海等現地バイヤーとの商談会	8社 90%	17社 81%
中国バイヤー招へい消費財商談会(広島県委託事業)	H31.2.13 広島県情報プラザ	バイヤー招へいによる商談会	5社 90%	11社 82%
合計			13社 90%	28社 81%

②バイヤー招へいによる商談会

アジア他、輸出有望国から食品やその他消費財関連バイヤーを招へいし、県内企業との商談会や企業視察を含めた商談の機会を創出した。

	開催日・場所	概要	参加者満足度	
			目標	実績
香港・豪州バイヤー招へい食品商談会 (広島日本香港協会共催事業)	H30.10.9~11 ANA クラウンプラザホテル	バイヤー招へいによる商談会	12社 90%	16社 100%
食品・酒類バイヤー招へい商談会 in 広島(JETRO、広島県、広島市等との共催)	H31.2.19 リーガロイヤルホテル広島	バイヤー招へいによる商談会	- -	55社 98%
合計			12社 90%	71社 99%

③海外バイヤーとの商談機会の提供

商談会等により、県内企業に関心を持った海外バイヤーとの商談機会を提供した。

概要	件数
日本酒、菓子、美容品などの商談設定及びフォローアップ	6

(2) 中国SNS商談事業

中国において10億人超が利用し、情報発信、連絡、決済等の機能を持ち、社会インフラとなっているSNS「WeChat（微信）」を利用した「商談プラットフォーム」を運用し、中国バイヤーと県内企業との商談機会を提供する。

・産振構 Wechat 商談プラットフォーム「広島俯瞰・広島優良品コーナー」の運用

	概要	参加社満足度	
		目標	実績
		「WeChat」を活用した商談プラットフォームの構築、運営	ひろしま産業振興機構「WeChat」公式アカウント [広島俯瞰/広島優良品コーナー] による商談機会の提供

(3) 賛助会員・留学生交流事業

当機構国際賛助会員の海外ビジネスの促進に資するため、会員相互の情報交換や県内大学等の留学生との交流の機会を提供した。

日時・場所	参加者	参加者	
		目標	実績
H30.8.29 ANA クラウンプラザ	国際賛助会員・留学生参加 (ベトナム、中国、韓国、ウズベキスタン)	40名	52名
H30.8.30 福山商工会議所ビル	国際賛助会員・留学生参加 (ベトナム、中国、ウズベキスタン)	40名	33名

《評価》

□平成30年度目標

□実績

①商談機会の提供 25社 満足度 90%	①商談機会の提供 105社 92% (共催事業を含む)
②WeChat への商品掲載企業 13社 満足度 90%	②WeChat への商品掲載企業 19社 90%
③賛助会員・留学生交流事業参加 80人	③賛助会員・留学生交流事業参加 85人

□令和元年度の課題

①商談機会の提供 県内企業ニーズに即したバイヤーの地域選定、上海事務所などによる新たな中国国内のバイヤー発掘、バイヤーへの事前の働きかけ、商談後のフォローアップを充実させる。
②WeChat の活用 日本の公益財団法人が有する公式アカウントであることから、現地のバイヤーの信頼度も高く、特に食品においては、スピード感を持った商談が実施でき商談成約に大きく貢献した。一方で中国における商標等の知財保護の観点から、WeChat への掲載を見送る企業もあった。今後は、配信可能な商品の募集を積極的に行い、商談プラットフォームを充実・活性化させていくことが必要である。

③賛助会員・留学生交流事業

インタビューの実施など留学生の声を聞くことができたが、企業交流の時間が確保できなかった。
時間配分や運営面を改善し、会員ニーズに即した事業とする。

3 ビジネス情報提供・研修

(県・団体・自 6,742 千円)

(1) 海外ビジネスセミナー事業

県内企業の関心の高い地域の最新経済情報や海外展開、輸出促進に必要となる情報、進出事例紹介など、海外ビジネスに有用な情報提供のためのセミナーを開催した。

	開催日・場所	内容	参加者満足度	
			目標	実績
中国ビジネスセミナー	H30.8.24 広島県情報プラザ	精米機製造業から垣間見る中国米市場 (株)サタケ 経営戦略室 中国推進担当課長 松本 吉人 氏 中国最新事情と中国市場販路開拓の秘訣 桜葉コンサルティング(株) 代表取締役 遠藤 誠 氏	40 名	40 名
			90%	100%
中国ビジネスセミナー	H31.3.12 広島県情報プラザ	中国におけるビジネス展開について 田中食品(株) 海外事業部長 鄭 譚進 氏 米中貿易戦争及び日中関係の好転 桜葉コンサルティング(株) 会長 孫 光 氏	40 名	36 名
			90%	89%
海外ビジネスセミナー 米国での販売戦略& EPA ビジネス戦略セミナー (共催:広島商工会議所、福山商工会議所)	H30.6.19 広島県情報プラザ H30.6.20 福山商工会議所	米国市場マーケティング・販売のヒント ひろしま産業振興機構ニューヨーク ビジネスサポーター 蟬本 睦 氏 メガ FTA 時代のビジネス戦略 (株)アールFTA研究所 代表取締役 中小企業診断士 関西学院大学・関西大学大学院 非常勤講師 麻野 良二 氏	80 名	64 名
			90%	98%
海外ビジネスセミナー 海外人材活用セミナー (共催:広島銀行、中小機構、広島商工会議所、福山商工会議所)	H30.8.29 ひろしまハイビル H30.8.30 福山商工会議所	海外人材の育成を支援する日本政府の 国庫補助事業のご案内 海外産業人材育成協会 グローバル戦略 グループ長 佐藤 裕之氏 技能実習制度とは異なる、日本で長期雇用が 可能な外国人高度人材 南富士(株) 代表取締役会長 杉山 定久氏 日本採用の実例からみる台湾における 人材の特徴および活用について ひろしま産業振興機構台北ビジネス サポーター 歐 元韻 氏	120 名	110 名
			90%	87%

	開催日・場所	内 容	参加者	
			満足度	
			目標	実績
海外ビジネス セミナー オーストリア・ス ロバキアビジネ スセミナー	H31.1.31 中小機構	オーストリアの企業・投資環境 -驚きが止まらない オーストリア大使館 副商務参事官 アーノルドアカラー氏 オーストリア・スロバキアにおける ビジネスチャンス ジェトロ・ウィーン事務所 Director 野澤拓郎 氏	40名	20名
			90%	100%
海外ビジネス セミナー アジアインバウ ンドビジネスセミ ナー	H31.2.14 広島県 情報プラザ	香港における訪日インバウンド情報 の発信について 香港角川有限公司 総経理 太田友樹氏 日本の当たり前をとらえ直す！ これからのインバウンド戦略 (株)MACTHA インバウンド戦略部 統括マネージャー シーソクラム カオ氏	-	66名
			-	100%
海外ビジネス セミナー インドビジネス セミナー	H31.2.22 中小機構	最新のインドの流れに乗り遅れるな！ 日本企業がインド進出時に直面する課題と取 組事例 ひろしま産業振興機構チェンナイビジネス サポーター 田中啓介氏、熊本浩明氏 インド経済の最新動向今後の方向性と現地で の会社設立にかかる法律知識 広島県海外ビジネス政策顧問 ニレンドラ・ウパデアーエ氏 激変するインドIT業界とイノベーション NASSCOM日本委員会 委員長 武鍵行雄氏	-	44名
			-	100%
海外ビジネス セミナー 海外販路開拓 セミナーWEB 海外販路開拓 の動向 (共催：広島銀 行、中小機構、 広島商工会議 所、福山商工 会議所)	H31.2.28 福山商工会議所 H31.3.1 ひろしまハイビル	越境EC なぜやる？ どうやる？ 独立行政法人中小企業基盤整備機構 販路支援部 国際化支援アドバイザー 平内 優氏 アマゾン越境ECプラットフォームの 活用術 (株)グローバルブランド 代表取締役 山田貴弘氏	-	82名
			-	100%
合計			320名	462名
			90%	96%

(2) 輸出基盤強化セミナー等事業

海外販路の獲得、輸出促進に必要な海外の法律や規制、国際認証の取得等に関するセミナーや講習会を開催し、県内企業の輸出促進のための基盤強化の支援を行った。

	時期・場所	内容	受講者満足度	
			目標	実績
米国食品安全強化法対応PCQIトレーニング講座	H30.5.29、30 広島県情報プラザ	米国食品安全強化法が義務付けるPCQI資格の取得支援 ペリージョンソンレジストラー 食品安全プログラムマネージャー 海澤 幸生 氏	40名	43名
	H30.7.25、26 福山商工会議所		90%	100%
HACCP制度化対応&販路拡大セミナー	H31.3.14 広島県情報プラザ	世界的な食品安全管理の標準規格「HACCP」取得に関する情報提供 ペリージョンソンホールディング(株) 取締役 新谷雅年氏	40名	39名
			90%	93%
合計			80名	82名
			90%	97%

※Agri & Foods Export Frontier、Hiroshima(アグリ協議会)との共催

県内食品関連企業 56 社による輸出協議会(H21年設立の任意団体) 事務局:ひろしま産業振興機構

(3) 海外視察研修事業

県内企業の海外展開に参考となる現地情報の収集や現地企業とのネットワーキングのため、今後の経済発展や企業間連携が期待できる国や地域への視察研修を実施した。

訪問国	日程	主な訪問先	受講者満足度	
			目標	実績
ドイツ	H30.4.15~20	<ul style="list-style-type: none"> ・ボッシュ工場(自動車部品/インダストリー4.0) ・ダイムラー工場(自動車メーカー/インダストリー4.0) ・メッセシュツットガルト(展示会場/MICEの経済効果) ・マツダヨーロッパR&Dセンター(地場産業の欧州戦略) ・ゼロエミッションタウン(環境に配慮した街づくり) など 	18名	13名
			90%	100%

(4) 国際取引実務研修事業

県内企業の貿易実務者の養成を支援するため、輸出入実務、国際取引契約等、海外取引の入門的な知識と専門知識実務さらに貿易業務経験者のための応用編まで、幅広い内容の貿易実務研修を実施した。

【講師】国際法務(株) 代表 中矢 一虎 氏

	内容	開催日	受講者満足度	
			目標	実績
入門編	貿易実務の基本体系を理解し、輸出入におけるルールなど貿易取引に必須の知識を習得	H30.6.13(広島) H30.6.14(福山)	80名	76名
			90%	97%
基礎知識編	入門編の知識をベースに、各種貿易書類の作成演習等により、実践的かつ広範囲な実力を養成	H30.7.11(広島) H30.7.12(福山)	80名	61名
			90%	97%

区分	内容	開催日	受講者満足度	
			目標	実績
応用編	貿易業務を実施する上での盲点やクレーム処理など実例を交えて解説し課題解決力を強化	H30.9.12(広島) H30.9.13(福山)	80名	52名
			90%	100%
合計			240名	189名
			90%	98%

(5) 情報誌等発行事業

①情報誌の発行

各種海外経済情報等を取りまとめた情報誌を発行し、定期的に賛助会員等に対して情報を提供した。

情報誌名	内 容
HAPEE MAIL	海外事務所、海外ビジネスサポーターの海外レポート、中国ビジネス Q&A、海外の見本市商談会情報、海外ビジネスに関する各種事業の紹介 等

②海外進出企業ダイレクトリーの更新発行

県内企業の海外進出状況を調査し、海外事業所等の概要を取りまとめて発行した。

発行時期	発行部数	内 容
10月	800部	県内に本社又は事業所を有する企業のうち、海外拠点を有しており公表を承諾した企業の概要 (海外事業所名称、所在地、連絡先、主要製品・取扱品等)

《評価》

平成30年度目標

実績

① 海外ビジネスセミナー 320名 満足度 90%	①海外ビジネスセミナー 462名 満足度 92%
② 輸出基盤強化セミナー 80名 満足度 90%	②輸出基盤強化セミナー 82名 満足度 97%
③ 海外視察研修事業 18名 満足度 90%	③海外視察研修事業 13名 満足度 100%
④ 国際取引実務研修事業 240名満足度 90%	④国際取引実務研修事業 189名満足度 98%

令和元年度の課題

○国際ビジネスを促進させるためには、企業ニーズに即した現地の最新事情、ビジネス展開に必要な情報の提供、世界の経済情勢を現地で把握するための視察研修の実施が必要である。

産業振興施設の運営

(483,725 千円)

産業支援施設の運営

(483,725 千円)

施設の老朽化や展示場面積・駐車場台数の不足などによる競争力の低下に直面しているため、指定管理期間（H28～H32）管理運営の基本方針を「リノベーションと活性化」とし、ハード・ソフトの機能の充実に努めた。

(1) 産業会館管理運営事業

(自 340,876 千円)

平成 30 年度指定管理業務実施計画においては、目標値である面積稼働率を 50%に設定し、最終実績値は指定管理制度導入後の最高値となる 54.6%と目標値を 4.6 ポイント上回った。

【計画目標値の状況】

年度	目標値	最終実績値	対目標値
平成 30 年度	50%	54.6%	+4.6 ポイント
(参考)平成 29 年度	51%	52.3%	+1.3 ポイント

【平成 30 年度の月別実績】

月別	利用料金収入等実績							展示館面積稼働実績				
	展示館			駐車場		合計	面積 A	開館日数 B	延べ面積 C (A×B)	延利用面積 D	面積稼働率 (D/C)	
	件数 (件)	日数 (日)	日数利用率	利用料金収入 (円)	台数 (件)	利用料金収入 (円)						利用料金収入 (円)
4	30	30	100.0%	20,394,613	17,059	9,767,450	30,162,063	5,500	30	165,000	87,105	52.8%
5	24	26	83.9%	13,953,605	12,319	6,862,400	20,816,005	5,500	31	170,500	61,340	36.0%
6	35	28	93.3%	18,215,780	19,178	10,600,050	28,815,830	5,500	30	165,000	87,331	52.9%
7	22	27	87.1%	16,353,923	15,986	9,320,200	25,674,123	5,500	31	170,500	77,765	45.6%
8	22	25	80.7%	13,285,560	20,902	12,170,050	25,455,610	5,500	31	170,500	66,456	39.0%
9	28	30	100.0%	23,527,312	16,880	11,193,350	34,720,662	5,500	30	165,000	104,853	63.5%
10	33	30	96.8%	27,915,348	18,650	11,357,750	39,273,098	5,500	31	170,500	117,131	68.7%
11	39	29	96.7%	21,125,315	18,692	11,468,200	32,593,515	5,500	30	165,000	96,089	58.2%
12	24	22	78.6%	12,158,597	14,635	7,655,650	19,814,247	5,500	28	※ 96,032	60,826	63.3%
1	21	25	89.3%	15,967,108	11,896	6,818,200	22,785,308	5,500	28	※129,897	74,691	57.5%
2	27	26	92.9%	19,578,856	14,094	8,358,650	27,937,506	5,500	28	※142,260	90,256	63.4%
3	25	30	96.8%	21,253,002	17,084	9,315,550	30,568,552	5,500	31	※151,086	92,467	61.2%
計	330	328	91.4%	223,729,019	197,375	114,887,500	338,616,519	-	359	1,861,275	1,016,310	54.6%

※延面積欄の 12～3 月の延べ面積の数値は、県の東駐車場舗装更新工事による利用停止期間を除く。

①施設・サービスのリノベーション

目標	実績
<p>県が実施する東駐車場舗装更新に合わせた老朽化した屋外サインのリニューアル</p>	<p>○本館ロビー等改修の基本設計・実施設計を行い老朽化した記名・案内サインのリニューアル工事を実施した。本館前の記名・案内サインは来場者に分かりやすく、東展示館・本館が所在する東街区と歩道の境界に施設案内サインを、また、バイパス側歩道に面して記名サインを設置した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>本館内部リノベーションプランの策定</p>	<p>○本館内部リノベーションプランとして1階ロビーはアフターメッセのビジネスラウンジとして情報提供コーナーや県内のイノベティブプロダクトの紹介コーナーの設置等、2階展示場は利用促進に繋がる多目的ギャラリーへのリニューアルについて基本デザインプランをまとめた。このうち、1階ロビーの内装更新を令和元年度に優先実施することとし、実施設計を行った。</p>
<p>駐車場案内板リニューアルプランの策定</p>	<p>○東駐車場・北駐車場は、平成2年の西展示館会館に合わせて有料駐車場化され、当時設置された駐車場案内板は相当老朽化しているため、東駐車場舗装更新工事後にリニューアルすることとし、リニューアルデザインプランを作成した。</p>

□令和元年度の課題

<p>○本館ロビー内装リニューアル工事の実施(上半期) ○東駐車場案内板のリニューアル(下半期)</p>
--

②財団自主事業の効果的な推進

目標	実績
<p>トミカ in HIROSHIMAの開催</p>	<p>○夏休み期間中の子供たちを対象に、「はたらくクルマ」を中心としたミニカーを用いた「巨大ジオラマ」の展示やミニカーの組み立て工場などを通して、子供たちの創造力の向上やものづくりへの関心を高めることを目的として、閑散期における集客イベントとしてRCCとともに開催した。</p> <p>○7月の豪雨災害後の実施だったが、7日間で43,157人と過去最高の来場者を記録した。(H29.8.10～16 プラレール博 35,986人)</p> <p>開催期間:平成30年8月10日(金)～16日(木) 主催(共催):中国放送/ミントジャムス (公財)ひろしま産業振興機構 後援:(公財)広島県私立幼稚園連盟 広島県保育連盟連合会 (一社)広島県子ども会連合会 (一社)広島市私立幼稚園協会 (一社)広島市私立保育園協会 広島市子ども会連合会</p> 

目標	実績
ひろしまAI・IoT進化型ロボット展示会2018の開催	<p>○出展公募型としては初めて「ひろしまAI・IoT進化型ロボット展示会 2018」を開催し、同展内でロボット革命イニシアティブ協議会主催の講演会を開催するなどして、来場者は2,500人を数えた。</p> <p>開催期間:平成30年12月12～13日 主 催:ひろしまAI・IoT進化型ロボット展示会実行委員会 共 催:(公)ひろしま産業振興機構 日刊工業新聞社</p> <p>出 展 者:40社・団体 ・ロボットメーカー4社 ・システムインテグレーター18社 (共同出展企業を含む) ・ロボット関連システム・要素技術12社 ・AI・IoT関連3社 ・自治体・団体3団体</p> 

□令和元年度の課題

<p>○「ひろしま AI/IoT 進化型ロボット展示会 2020」の効果的実施</p> <p>○閑散期の利用促進を図るイベントの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4/25～5/6 広島ホームテレビ「鉄道おもちゃ体験博」 ・8/10～8/20 広島ホームテレビ「広島大恐竜博」

③県内製品愛用運動「BUY ひろしま」の推進

目標	実績						
<p>「広島 BOX～メイド・イン・ひろしまギャラリー」の展示</p> <p>第1期 4月～6月 (工業製品) 第2期 7月～9月 (夏季特別展示) 第3期 10月～12月 (食品・日本酒) 第4期 1月～3月 (伝統的工芸品等)</p>	<p>○平成28年5月に全面リニューアルした「広島BOX～メイド・イン・ひろしまギャラリー」においては、約3年間の展示実績を踏まえて出展企業の評価も高まりつつある。平成30年度は出展企業の要望によって展示品を新製品に変更した例が、出展企業の3分の1の20企業となっており、新製品のPRの場所としての認知度が着実に進んでいる。</p> <p>○平成30年9月には、浜松商工会議所青年部提言委員会の視察を受け入れた。同委員会は「浜松BPコネクト構想」をとりまとめ、「100年後に繋げる made in 浜松」をテーマに企業と市民をつなぐ展示とウェブサイトの創設を提案している。</p> 						
<p>C-LOUNG デザインギャラリーの展示、来場者向けリーフレットの作成</p>	<p>○商談コーナー内には、広島在住のデザイナーによる作品・製品展示、情報提供スペースとして「C-LOUNG デザインギャラリー」を設けており、企業とデザイナーの出会いの場を志向する、デザイン性に優れた県内製品の情報展示(第3期、第4期)を行うとともに、展示の内容を紹介するリーフレットを作成し来場者へ配布した。(6月、11月)</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>第3期</td> <td>30.6.15 ~ H30.6.14</td> <td>パッケージデザイン4作品 ポスター3作品</td> </tr> <tr> <td>第4期</td> <td>H30.11.1 ~ H31.4.26</td> <td>パッケージデザイン4作品 ポスター3作品</td> </tr> </tbody> </table>  	第3期	30.6.15 ~ H30.6.14	パッケージデザイン4作品 ポスター3作品	第4期	H30.11.1 ~ H31.4.26	パッケージデザイン4作品 ポスター3作品
第3期	30.6.15 ~ H30.6.14	パッケージデザイン4作品 ポスター3作品					
第4期	H30.11.1 ~ H31.4.26	パッケージデザイン4作品 ポスター3作品					

目標	実績
広島 BOX・クリエイティブカフェの開催	<p>○県内製品の更なるブランド力向上とデザイン分野からのイノベーションの創出を図ることを目指して、広島 BOX 出展企業と県内のデザイナー・クリエイターの交流連携を図るため、「第3回広島 BOX クリエイティブカフェ」を開催した。</p> <p>日時:平成 31 年 3 月 11 日(月)15 時～17 時 場所:本館 C-LOUNGE テーマ:デザインによる企業ブランディング 参集者:広島 BOX 出展企業及び県内在住デザイナー・クリエイター等約 40 名</p> 

□令和元年度の課題

- 小学生の社会科教育と企業の CRS 活動連携事業の推進
- 開館 50 周年(2020 年度)に向けた記念冊子の企画・準備等

④展示会事業者とのネットワーク強化

目標	実績
第4回広島地域展示会産業事業者連絡会議の開催	<p>○本県における MICE 振興の一環として、広島県の産業集積やブランド力を生かした展示会の開催促進を図るため、広島地域の展示会産業事業者のネットワークづくりに向けて、大手催事者や MICE コンサルタントを招へいし、連絡会議を開催した。</p> <p>○平成 30 年度は、12 月に広島商工会議所グローバル MICE 検討委員会が提出した「広島における MICE のあり方提言」を踏まえた講演や福山の地場企業による展示会開催の成功事例の紹介を行うなど広島地域の展示会産業関係者のネットワーク強化と、MICE 振興に向けた認識の共有化を図った。</p> <p>日時:平成 31 年 2 月 21 日(木)14:00～16:30 場所:本館 2 階会議室 主催:(公財)ひろしま産業振興機構 共催:(一社)日本ディスプレイ業団体連合会広島ディスプレイ協会 参加者:展示会関係者、マスコミ関係者等約 40 名が参加</p> <p>【講演】</p> <p>(1)「広島地域における MICE の現状と拡大に向けた課題」 近畿大学経営学部教授 高橋 一夫 氏 <small>(広島商工会議所グローバル MICE 検討特別委員会 委員)</small></p> <p>(2)「パッケージと機器の魅力・解決の POWER SPOT～しまなみ PACK 誕生の目的と経緯」 (株)コパックス取締役常務執行役員 小林 泰士 氏</p> <p>【質疑応答、意見交換】</p> <p>〔コーディネーター〕</p> <p>(株)MICE ジャパン 代表取締役社長 森口 巳都留 氏 (株)MICE ジャパンシニアアドバイザー 於久田 幸雄 氏</p>

□令和元年度の課題

- 連絡会議メンバーと連携した展示会開催の検討

(2) 産業技術交流センター等管理運営事業

(県・自 142,849 千円)

公共団体の事務室利用及び商工業者、産業関係諸団体への研修室等の貸出しなどにより、県内産業の振興に資する目的を一層増進させるため、「産業技術交流センター」の適正な管理運営に努める。併せて「広島県情報プラザ」の一体的な施設管理にあたる。

※広島県情報プラザ

産業技術交流センター、県立図書館、県立文書館、県立生涯学習センターの合築施設の総称

【利用実績／貸会場及び一般有料駐車場】

月別	利用件数							会場利用料金収入 A (円)	駐車場収入 B (円)	A+B (円)
	第1研修室	第2研修室	第3研修室	会議室	視聴覚研修室	多目的ホール	計			
4	12	20	13	13	15	16	89	1,101,500	831,650	1,933,150
5	19	20	13	11	14	17	94	1,337,500	978,300	2,315,800
6	25	26	21	22	16	24	134	2,055,000	1,792,350	3,847,350
7	22	27	18	9	13	24	113	1,708,500	1,351,350	3,059,850
8	19	18	17	8	15	18	95	1,391,000	1,243,350	2,634,350
9	19	22	17	13	15	25	111	1,670,500	1,284,900	2,955,400
10	27	22	16	16	9	28	118	1,874,000	1,405,500	3,279,500
11	20	20	23	15	12	25	115	1,693,500	1,248,450	2,941,950
12	20	16	15	11	13	12	87	1,079,000	879,300	1,958,300
1	17	14	16	14	12	20	93	1,300,000	1,152,150	2,452,150
2	22	22	16	13	15	22	110	1,611,500	1,437,000	3,048,500
3	17	11	17	10	19	14	88	1,074,000	1,019,250	2,093,250
計	239	238	202	155	168	245	1,247	17,896,000	14,623,550	32,519,550

《評価》

平成 30 年度目標

実績

<p>①研修室等の利用件数 指定管理期間平均で 1,400 件</p> <p>②快適な施設環境提供 地下駐車場の LED 化、県の大規模工事に合わせた施設整備等</p>	<p>①7月豪雨の影響もあって利用件数は目標の約9割にとどまったが、駐車場も含めた利用料金収入は前年度並であった。</p> <p>②地下駐車場の LED 化ほか防災関係等の緊急性の高い修繕を実施した。</p>
--	--

令和元年度の課題

<p>○引続き、貸会場等利用者の満足度向上・利用促進を図るとともに、施設・設備の計画的な機能維持を目指す。</p>

(3) 広島起業化センター運営事業 (再掲)

業務の適正を確保するための体制及び当該体制の運用状況

1 業務の適正を確保するための体制

当法人では、一般社団及び一般財団法人に関する法律等に基づき、以下のとおり業務の適正を確保するために必要な体制に関して、平成24年3月22日開催の理事会の決議によって内部統制システム構築の基本方針を定めております。

第1 理事及び職員の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

- (1) 「機構倫理規程」の下、業務執行理事及び職員は日常業務執行が法令及び定款に適合することを確保するよう取り組みを行う。
- (2) 理事及び職員が、機構においてコンプライアンス違反行為が行われようとしていることに気づいたときは、理事長、副理事長、事務局長又は監事に通報しなければならない。また、機構は通報内容を秘守し、通報者や調査協力者に対して不利益な扱いをしないこととする。

第2 理事の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制

評議員会議事録、理事会議事録、稟議書、各種決定書その他の理事の職務の執行に係る情報については、関係する規程を整備し、情報を適切に保存及び管理を行う体制の整備を図る。

第3 損失の危険の管理に関する規程その他の体制

- (1) 損失の危険については、関係する規程を整備し、適切に管理を行う体制の整備を図る。
- (2) 理事長又は副理事長は、各部門の有するリスクの把握に努め、そのリスクの未然防止、発生した際の対処等について、適切な指導を行う。

第4 理事の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

- (1) 業務執行のマネジメントについては、定款に定める付議事項に該当する事項すべてを評議員会及び理事会に付議する。
- (2) 日常の業務遂行については、組織規則その他関係する機構組織規程に基づく役割分担、権限委譲等により効率的に行う。

第5 監事への報告体制及びその他監事の監査が実効的に行われることを確保するための体制

- (1) 理事は、機構に著しい損害を及ぼすおそれのある事実があることを発見した時は、直ちに監事に報告する。
- (2) 理事は、重要な訴訟・係争、会計方針の変更、重大な事故、当局から受けた行政処分等については、機構に著しい損害を及ぼすおそれのある事実該当しない場合であっても、直ちに監事に報告する。

- (3) 監事は、理事会のほか重要な意思決定、業務の執行状況を把握するため必要な会議に出席するとともに稟議書など必要な文書を閲覧し、必要に応じて理事長、副理事長、業務執行理事又は職員にその説明を求めることとする。
- (4) 監事は、会計監査人から会計監査内容について説明を受けるとともに、情報の交換を行うなど連携を図る。

2 業務の適正を確保するための体制の運用状況の概要

当事業年度における、当法人の業務の適正を確保するための体制の運用状況の概要は、以下のとおりです。

法令や定款に適合する理事・職員の職務の執行や情報の保存及び管理については、定款に基づく財団の業務方法書、倫理規程、財務規程、文書等取扱規程等の諸規程を根拠とする意思決定を行うことによって、適正な事業の執行を確保しました。新規採用職員に対しても、財団の業務内容や倫理規程を始めとする規程類について研修を実施することによって法令・規程等の理解と遵守を図りました。

損失の危険の管理については、財産管理規程、財務規程等の定めるところにより対応しました。

理事の職務執行については、業務執行理事で構成する常務会の他、定例的に連絡会議を実施し、業務の適正性・効率的な執行及び、日常業務の遂行における連携の確保につとめるとともに、法人に著しい損害を及ぼすおそれのある事項の有無等について適時適切な確認を行いました。

すべての理事会において、監事の出席のもと、意思決定や業務執行状況の報告を行うとともに、監事に対し、会計監査人から会計監査内容について説明を行いました。

事業報告附属明細書

平成30年度事業報告においては、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に定める「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当するものはない。